

第九十回 帝國議會 貴族院 食糧緊急措置令(承諾ヲ求ムル件)特別委員會議事速記録第一號

付託議案
○食糧緊急措置令(承諾ヲ求ムル件)
昭和二十一年九月九日(月曜日)午前
十時十五分開會

○委員長(伯耆黒田清君) ソレデハ是
ヨリ會議ヲ開キマス、今日ヨリ質疑ニ
移リマス

○子爵秋田重孝君 先進テカラ新聞ニ
載ツテ大分世間ヲ騒ガシテ居ル配給ノ
粉ノ中毒事件ガアリマスガ、食糧問題
トシテ世間ノ人ハ皆非常ニ重大ナ關心
ヲ持ツテ、ドウ云フヤウナ原因カト云
フコトヲ大分注目シテ居ルノデスガ、
ドウ云フヤウナコトデスカ、御分リニ
ナツテ居リマスガ、其ノ點チヨット
ソレガ爲ニ大分近所ノ町會何カデ、
配給ヲ停止サレテ居ル所モアルヤウニ
聞イテ居リマスガ、其ノ真相ヲ一ツ御
話願ヘレバ結構ト思ヒマス

○政府委員(補見義男君) 御答ヘ申シ
マス、今御話ニナリマシタヤウニ非常
ニ世間ヲ騒ガシテ居リマスシ、從ツテ
又此ノ問題ニ付テハ世間デモ非常ニ關
心ヲ持ツテ居リマスノデ、新聞紙等ニ
於キマシテモ此ノ問題ヲ相當大キク取
扱ヒ、又刻々其ノ情勢ヲ報告シテ居リ
マシテ、新聞ニ報道セラレテ居リマス
ル點ハ、具體的ニ又詳細ニ報道セラレ
テ居リマスノデ、大體ハ御承知カト思
フノデアリマスガ、結論ヲ先ニ申シマ
ス、私共ハマダハツキリ致シテ居リマ
セス、實共アノ問題ガ起リマシテ、早
速取締ベマシタコトハ三點アルノデア
リマスガ、先づ第一ニ毒物ガ混入サレ
テ居ルカドウカト云フコトニ付キマシ

テ、警視廳ノ衛生試驗所デ此ノ問題ヲ
早速取上ゲテ實ヒマシタ、其ノ次ニハ
前ニモ小麦粉ヲ持ツテ參リマス際ニ、
香水事件ト稱シマシテ粉ニ臭ヒガ附イ
テ居ツタコトガアルノデアリマス、是
ハ貨車ガ小麦粉ヲ運ビマス前ニ、サウ
云フヤウナ他ノ物ガ小麦粉ノ前ニ運バ
レテ居リマシタ物ノ影響ヲ受ケテ居リ
マシテ、是ハ其ノ場合ニハ早速配給ヲ
止メマシテ、是ハ消費者ニハ全然行渡
リマセマシタ、今度モサウ云フヤウ
ナコトガ小麦粉ヲ運ビマス前ニナカッ
カドウカト云フコトニ付テ、鐵道局ニ
モ其ノ點ヲ能ク調べテ實ツタノデアリ
マス、問題ノ小麦粉ハ外麥ヲ柄木ノ小山
ノ日本製粉デ製粉致シマシテ、ソレヲ
東京ヘ持ツテ參ツタノデアリマス、大
體問題ノ小麦粉ハ貨車番號ハ「ワ」ノ五
萬一千五號ト云フ貨車デゴザイマス
シテ、之ニ六百八十二號ノ小麦粉ヲ積
デ居ツタノデアリマスガ、此ノ「ワ」ノ
五萬一千五號ト云フ貨車ニ其ノ前何
ヲ積ンデ居ツタカ、又ソレガ毒物デア
ツカドウカト云フコトヲ調べテ實ツ
タノデアリマスガ、此ノ方ハ何等ノ所
サウ云フヤウナモノガ問題ニナラナイ
ヤウデアリマス、ソレカラ其ノ次ノ問
題ハ、製粉工場ニ於テ操作上、サウ云
フ毒物ガ混入スル餘地ガアツタカドウ
カト云フコトデゴザイマシテ、早速係
官ヲ小山ノ製粉工場ニ派遣致シタノデ
アリマスガ、此ノ方モ別段今ノ所何
サウ云フヤウナ痕跡ハナイヤウデア
リマス、結局現在ノ所、最初ニ結論トシ
テ申上ゲマシタヤウニ、マダハツキリ

致シテ居ラナイノデアリマスガ、特ニ
警視廳、東京都ガ中心ニナリマシテ、
尙今探究ヲ致シテ居ルヤウナ實情デア
リマス、一日モ早く結論ガ出マスヤウ
ニ焦慮致シテ居ル次第デゴザイマス、
ソレカラ消費者ノ方ニ對シマシテハ早
速取締ヲ居リマシタ小麦粉ヲ引上ゲマ
シテ、其ノ代リニ、是モ新聞等ニ出
テ居リマスルヤウニ乾麵デアリマス
カ、玉蜀黍デアリマス、斯ウ云フ
モノヲ配給シ、一部米ノ配給モ致シ
マシテ、其ノ穴埋メヲ致シテ居ルヤウ
ナ情勢デゴザイマス、何分ニモマダハ
キリ致シテ居リマセヌガ、急イデ居
ルヤウナ狀態デアリマス

○子爵秋田重孝君 新聞ニ出テ居リ
マシテモ、ドウモ新聞ハツキリシナイ
デ詳細ナルコトハ少シモ分リマセヌ
ガ、其ノ物ヨリモ中毒ヲ病氣ニナツ
タ人ヲ取調ベラレテ、ソレデ一體ドウ
云フモノガ中毒ヲ起シタカト云フヤウ
ナコトヲ御研究ニナツタノドラウト思
ヒマスガ、其ノ點ハ如何デゴザイマ
スカ

○政府委員(補見義男君) 其ノ點モ新
聞ニ出テ居リマスル通りデアリマシ
テ、植物性ノ、チヨット名前ハ忘レマ
シタガ、植物性ノ中毒症狀デナイカ
ト云フコトデアリマシタ、其ノ點ハ私
マ詳細承知致シテ居リマセヌデゴザ
イマス

○子爵土屋重直君 農林次官ニ御尋
ネ致シマス、今年ノ春ニナリマシテ、政
府デ絕對量ガ不足ニナツタト云フ聲明
ヲ致シマシタ結果、全國民ガ不安ヲ感
ジマシテ、生存ノ危機サハ感ズルヤウ

ニナツタ結果、食糧獲得ノ涸々タル國
民ノ力ノ現レハ統制ノ増々乘越エテ、
或ハ關取引トナリ、或ハ不良供出トナ
リタノドラウト思ヒマス、其ノ原因ハ
何ゾヤナルト重大ナ問題ダト思ヒマ
ス、私ハ其ノ最大ノ原因ハ既ニ解決シ
テ居ルノデヤナイカト思フノデアリマ
スガ、ソレデ一番大キナ問題トシテ私
ノ考ヘテ居リマスノハ、農村ニ於ケル
青年ガ出征シタ後デ、残りノ女ヲ老人
ガ作ツタモノヲ食慾旺盛ノ青年ガ歸
テ來テ喰ツタト云フコト、是ガ一番大
キナ原因ダト思ヒマス、其ノ次ハ、昨
年ノ天候ガ惡カツタコト、其ノ次ニハ、
爆撃ノ危險ガアツタト云フコトデア
リマス、處ガ本年ハ以上三ツノ大原因ハ
全部解決シテ居ルノデアリマス、又全
國民ガ學ツテ都市ニ於テ迄農業ニ從事
シタノデアリマシテ、果シテ本年ハ近
來稀ナル豐作ニナツタノデアリマス、
ソレデ本案ニ付キマシテモ現在ハ衆議
院デ本案ガ議セラレタ時トハ餘程時ガ
移ツテ居リマスノデ、果シテ現状ニ於
テ今後モ尙本案ノ繼續進行ヲ必要トス
ルカドウカ、又現在ノ日本トシテ、又
進駐軍ノ占領目的ト云フ立場カラ見
テ、餘程本案ニ付テハ研究ヲ要スルコ
トダト思フノデアリマス、大體四項目
ニ大別シテ農林省ノ御説明ヲ伺ヒタイ
ト思ヒマス、質問ノ第一點ハ、新米ニ
對シテ供出ノ末端割當ノ時期ヲ御尋
ネ致シタイノデゴザイマス、昨年ノ供出
不良ノ原因ニ相當大ナル影響ヲ與ヘマ
シタノハ、本年ノ二月ニナツテカラ末
端割當ガ決定シタコトデゴザイマス、

他方終戦後農民ノ心構ヘニ非常ニ遺憾
ノ點ガアツタノデゴザイマシタガ、現
狀デハ農民ノ心構ヘハ全ク昔日ノ感ガ
アルノデゴザイマス、幸ヒ最近ノ新聞紙
上デ割當ガ決定シタコトヲ讀ンダノ
デゴザイマスガ、要部落ノ末端割當ノ時
期如何ト云フコトデゴザイマシテ、十
月ニ入ルト讀ンダノデゴザイマス、然
ルニ早稲モノハ既ニ收穫ガ半バデゴザ
イマス、今年ハ部落内ノ農家ノ間デ飯
米ニ分配供セラレルノデ、勿論此ノ早
稲米ノ收穫ニハ間ニ合フ必要ハナイト
思フノデゴザイマスガ、少クとも只今
關東地方デ收穫ノ始リツ、アル農林一
號ハ相當收穫量モ多イモノデゴザイマ
スカ、今ノ間ニ合シテ藏カナイト云
フト、農家モ困ルシ、農家ノ間ノ供
出責任者等モ皆困ル結果ニナルノデ
ゴザイマス、ソレニ價格ノ點デ、早イ中
ノ方價格ガ高イト云フ現狀ノ見透シヲ
農民ノ間デ付ケテ居リマスノデ、供出
「ルート」カラ脱走スル危險ガアルト思
フノデゴザイマス、サウスルト再ビ責
任ガ當局ニアルト云フコトニナルノデ
ゴザイマス、ソコデ先づ第一ニ、部落
ノ末端割當ノ時期ヲ御答ヲ願ヒタイ
ト思ヒマス

○政府委員(補見義男君) 御答ヘ申上
ゲマス、御話ニゴザイマシタヤウニ、
昨年ノ出何ノ不振ノ原因ハ、當時ノ終
戦後ノ社會情勢或ハ政治情勢其ノ他色
色ノ問題ガ絡ミ合ヒマシテ、云フヤ
ウナ情勢ニナツタノデアリマスガ、併
シ其ノ中ノ又大キカ原因ハ、是モ御話
ニゴザイマシタヤウニ、供出割當ガ非

當ニ運レタコト云フコトガ大キナ力ヲナシテ居ルと思フデアリマス、從ツテ本年ノ問題ニ付キマシテ、私共ト致シマシテハ端緒期ハ勿論從來ニ引續キマシテ聯合軍ノ放出食糧ニ依ツテ辛ウジテ驚イテ行ケルと思フデアリマスガ併シソレカト申シマシテ、必ズシモ潤澤デハナイ譯デアリマスノデ、ドウシテモ新米ノ集荷ト云フコトニナリマス、其ノ滑出シヨウマクヤラナケレバナラヌト云フコトヲ豫ネ、考ヘテ居シマシテハ、矢張り御話ニナリマシタヤウニ、供出割當ヲ出來ルダケ早クヤルト云フコトデアッタデアリマス、勿論早ケレバ早イ程宜イ譯デアリノデアリマスガ、特ニ早場米ニ依ツテ端緒期ヲ繋ガナケレバナラヌト云フ問題モアリマスルシ、引續イテ供出モ滑出シヨウマクヤラナケレバナラヌト云フ二ツノ問題カラ色々検討ヲ致シテ居リマシテ、多少ソレデモ運レタ感ハアルノデアリマスガ、幸ヒ供出方法モ衆議院ニ設置サレマシタ食糧對策委員會デ同意ヲ得、又關係方面ノ同意モ得マシテ、御承知ノヤウニ先般發表致シタノデアリマスガ、其ノ發表ヲ待ツ譯ニ參リマセヌノデ、早場米ニ付キマシテハ八月ノ中旬ニ府縣ノ食糧課長ヲ集メマシテ、大體新ラシイ供出方法トシテハ、斯ウ云フ方法ノコトヲ考ヘテ居ル、今迄ノ供出割當ノ範圍ニ於キマシテハ、地方長官ヲ集メマシテ、其ノ時ニ新ラシイ供出方法ヲ説明シ、ソシテドレデケ出シテ貰フト云フヤウナコトヲ致シテ居リマシタノデ、非常ニソレデケデモ時間ガ喰ヒ、又其ノ場デ新ラシイ方法ヲ頭ニ入レナケレバナラヌト云フコトデ、供出割當ノ會議モナカ、ウマク

參ラナカッタデアリマス、其ノ例ハ本年ノ麥ノ供出割當ニ付テ實驗シタノデアリマスガ、サウ云フヤウナコトヲ致シマシテ、本年ハ出來ルダケ早ク府縣ニモ準備ヲシテ貰フ、斯ウ云フ意味デ、今申シマスヤウニ、八月ノ中旬ニ事務的ニ食糧課長ヲ集メタノデアリマスガ、其ノ際ニ併セテ一般ノ供出割當ノ時期迄待ツテ居リマス、早場米ガ間ニ合ヒマセヌノデ、早場地帯ニ對シマシテ早場米ノ供出割當ヲ實ハ致シタノデアリマス、一部ノ、勿論全體ノ中ノ一部デアリマスケレドモ、サウ云フコトニ致シマシテ、各府縣ハソレゾレ縣ニ持ツテ歸ツテ準備ヲ致ス、ソコデ、九月、十月ノ早場米ノ割當ト云フモノハ既ニ決ツテ居ルノデアリマス、一部マダ未端ニ至ツテ居リナイ所モアラウカト思ヒマスガ、其ノ方ハ大體進ンデ居ルモノト承知シテ居リマス、尙餘談デアリマスガ、早場米ヲウマク引張リマス爲ニハ、實ハ今年ノ例ノ赤字搬出ト云フコトヲ強行致シマシタ爲ニ、例年デゴザイマス、生産地方デ米ガナイト云フヤウナコトハ殆ド未ダ曾テナイノデアリマスガ、赤字搬出ヲ強行致シマシタ結果、東北地方、又北陸地方ニ於キマシテモ、其ノ端緒期ニ於テ自分ノ縣ニ食糧ガナイ、從ツテ通常ノ狀態デ放置致シマス、早場米ヲ先ヅ以テ自分ノ縣デ食ツテシマフト云フヤウナコトガ懸念サレマシタノデ、其ノ早場米ニ關聯致シマシテ、例ハバ新潟ニハ歸結ヲ送ルトカ、或ハ飼料トシテ必要ナ缺ヲ送ルトカ、...缺ヲ送リマシタノハ農村デ、御承知ノヤウニ肥料ガナイ、又飼料モナイト云フコトデ精白ヲ非常ニ希望シテ居ルノデアリマスガ、其ノ精白ヲ農村デユツクリヤ

ラセテ居リマシタノデハ、消費地方デハ首ヲ長クシテ其ノ早場米ヲ待ツテ居ル譯デゴザイマスカラ、サウ云フコトノ露クト申シマス、對策トシテ實ハ缺ノ儘送ル、サウ云フコトデ今準備致シテ居ルノデアリマス、尙モ餘談デアリマスガ、現在各府縣ニ供出割當ヲ致シテ居リマスガ、ソレガ濟ミ次第、又衆議院ノ食糧對策委員會デモ應議會ノ目鼻ガ付キ次第其ノ對策委員會ノ委員ノ方々ニ早場地方へ出向イテ出荷ノ督勵ヲシテ戴ク、斯ウ云フヤウナ手配ヲ實ハ致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ一般ノ割當ノ末端ヘノ到著時期デアリマスガ、昨年ハ御話ノアリマシタヤウニ十二月ニナツテ中央ノ割當ガ決マリマシタ爲ニ、末端ニ參リマス際ニハ非常ニ運レタノデアリマス、ソコデ本年ハ早場地帯カラ順次割當ヲ致スコトトシマシテ、實ハ先週ノ木曜日カラ東北、北陸斯ウ云フ方面ノ地方長官等ト具體的ニ割當ノ打合せヲ致シテ居リマス、本日デ大體關東以北、北陸ノ方ハ濟ムノデアリマシテ、ソレガ濟ミ次第滋賀縣ノ大津へ參リマシテ、關西、九州、四國、中國、斯ウ云フ地方ノ地方長官ト具體的ニ話合フ、斯ウ云フコトニナツテ居ルノデアリマス、從ツテ大體普通ニ參リマスレバ地方長官ガ其ノ打合せノ結果ヲ持ツテ歸リマシテ、府縣デ食糧委員會ヲ開キマシテ、其ノ食糧委員會ノ議ヲ經テ市町村ニ下スノデアリマス、市町村デハ是モ御承知ノヤウニ食糧調整委員會ノ議ヲ經マシテ、之ヲ部落ヲ通ジテ各個人ニ下スト云フコトニナリマスノデ、長ケレバ矢張り三週間カラ四週間ハ掛カラウト思フノデアリマス、本年ハ架空ノ數字ト云フ問題、或ハ又農家ノ保有量ト云フヤウナ

點ニ付テ色々從來缺陷ノアツタ點ヲ是正致シマシテ、出來ルダケ分リ易ク致シテ居リマスノデ、從來ノ最長一箇月掛カッタコト云フ點ハ相當縮サレルノデハナイカト思ヒマスガ、併シ或程度又地方デモ採メルゴトデアリマセウカラ、結局早イ所デハ本月ノ末位ニハ末端ニ迄行クコトト考ヘテ居リマス、○子爵土屋直君 質問ノ第二點、割當決定ニ付テノ御伺ヲ致シタト思ヒマス、割當技術ニ付テハ當局ニ於テモ色々御苦心爲サツテ居ルコトハ固ヨリ拜察シテ居ルノデゴザイマスガ、目下ノ農村ニ於ケル古米、馬鈴薯、麥等ノ賣急ギ、最近ニ於ケル買出シ部縣ニ對スル賣出シ部縣ノ壓倒的多數且漸増傾向ハ確カニ是迄ノ割當ガ適當デナカツタコトヲ明カニ示スモノデアルト思ヒマス、絕對量ハ成ル程不足シテ居ルノデモゴザイマセウガ、農家ノ手持食糧ノ凸凹デアツタコト云フコトハ割當技術ノ不手際ノ結果デアルト思ヒマス、私ハ此ノ前ノ議會デモ遺憾ナガラ收穫ヲ隱スト云フコトガ我が國農民ノ第二ノ天性デアルトコトヲ御注意致シタノデゴザイマス、果シテ今秋ノ麥、馬鈴薯ノ割當ニ對スル段別檢見法トカ、附近ノ縣及ビ數縣ノ檢見法トカ何ノ役ニモ立タナカッタノミナラズ、却テ良心的農民ノ間ニ不公平ノ感ヲ抱カセ、其ノ増産改良意欲ノ離反サヘモ起サセルヤウニ思ハレタノデゴザイマス、本省ノ新米ニ對スル全國收穫豫想高モ當局ノ御發表ハ非常ニ少イヤウニ思ヒマス、個々ノ農家ハ意外ノ豐作ヲ驚イテ心中デ認メテ居ツテ、平均三割力、甚シキハ五割見當モ又シテモ正規ノ「ルー」カラ脱落スルノデハナイカト思ハレルノデアリマス、又進ンデ段當收量

ノ皆無等ト云フ不良耕作者ヘノ割ト云フモノガゴチャニハナイノデアリマス、精農家ハ誠ニ残念ニ思ツテ居ルノデアリマスガ、ソコデ當局ニ於テハ今秋ハ如何ナル方法ニ依ツテ割當高ヲ決定スルノカ、供出ノ標準トシテ全收穫量ヲ把握スル御自信ガアルノカト云フコトヲ第一御伺ヒタイト思ヒマス、其ノ點御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、○政府委員(補見義男君) 御答ヘ申上ガマス、御述ニナリマシタヤウニ統制ヲ致シテ居リマス、ドウシテモ控ヘ目ニ收穫量ヲ發表スル、農民自身サウ云フ氣持デアリ、又中間ニアリマスル指導層ノ面ニ於キマシテモ、結局例ヘバ府縣廳デ申シマシテモ收穫割當ガ輕ケレバ、輕イデ、其ノ縣内ノ操作ガ樂ナ爲ニサウ云フヤウナ傾向ニアルコトハ全ク御話ノ通りデアリマス、同時ニ私共ト致シマシテハ此ノ點ヲ非常ニ遺憾ニ存ジテ居ルノデアリマシテ、私實ハ食糧管理局長官ヲヤツテ居リマシタ際ニモ此ノ點ガ一番頭痛ノ種デアリマス同時ニ、極論致シマスルト、此ノ考ヘ方ガ直ラナイ限リハ日本ノ現在ノ食糧問題ハ解決シナイノデヤナイカ、救ハレナイノデヤナイカト云フコトヲ、強ク痛感致シタヤウナ次第デゴザイマス、是ハ一片ノ法令デアリマストカ、或ハ一片ノ聲明トカ色々單純ナコトデハ、此ノ弊ハ絕對ニ防ガレナイト思フノデアリマス、色々ノ經濟情勢ノ變化、或ハ社會情勢ノ變化、政治力ノ強化ト云フヤウナ各方面ノ力ガ密集リマセケレバ、ナカ、面倒ナ問題デアラウト思フノデアリマス、併シサウカト言ツテ全體ノ機運ガ熟スル迄待ツコトハ、到底事情ガ許シマセヌノデ、政府ト致シマシテハ出來ルダケノ

コトヲ、其ノ間ニ於テヤルコトハ勿論必要ナコトト思フノデアリマス、ソコデ實ハ本年ノ供出問題ニ付キマシテハ、是モ御承知ノヤウニ農家ノ保有量ト云フモノハ、味噌醤油ノ分モ合セテデハアリマス、ケレドモ、一人當リ四合ト云フコトニ致シマシタ、尤モ年輪別構成ニ應ジマシテソレノ數量ハ違フノデアリマスガ、大人モ子供モ合セテ、農家一人當リ四合トスウ云フコトニ致シタノデアリマス、從來ノ供出割當ノ基礎數字ニナツテ居リマシタ數字ハ、一人當リ三合一五才ト云フコトデゴザイマシタ、此ノ數字自體ニモ色々問題ガアリ、又無理モアツタカト思ヒマスガ、併シ一人四合ヲ保持スルト云フコトニナリ、又供出シタ明ル日ニ直チニ還元配給ヲ受ケナケレバナラヌヤウナ農家ニ對シテハ、本年ハ供出割當ヲ致サナイト云フヤウナ、農家保有ノ點ニ付テハ相當改善ヲ致シタ積リデアリマス、從ツテ此ノ點ヲ能ク農家ニ徹底ヲサセ、數字ヲ隱シテ送スルコトノ必要ノナイ點ヲ能ク一面ニ於テハ強調致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、同時ニ特ニ是ハ先程申上ゲマシタコトデアリマスガ、出廻リ當初ノ滑出シト云フコトガ一番大事デアリマシテ、此ノ滑出シガウマク行キマセスケレバ、ナカノ「正常ノルート」ニ引戻スコトハ困難デアリマスカラ、出廻リ當初ニ於キマシテハ特ニ取締ノ點ニ付テハ、是ハ内務省ノ方モ非常ニ力ヲ入レテ努力シテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ハ先ヅガツチリトヤツテ、市町村食糧調整委員會モ出來タノデアリマスガ、此ノ市町村食糧調整委員會ニ於テモ委員ヲ出シテ、例ヘバ防犯組合ト云フモノヲ作ル、斯ウ云フコトモ

實ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、モウ一つ横流レノ防止策トシテ考ヘマスコトハ、現在ハ御承知ノヤウニ供出割當ハ部落單位デアリマシテ、部落ノ連帶責任ト云フコトニナツテ居リマシタノデ、部落ノ相互監視言ヒマス、部落ノ内ノ一人ガ横流シヤル、不正ヲヤルト云フト、結局其ノ負擔ガ部落ノ連帶責任ノ爲ニ、部落トシテハソレデケ何カ大キナル譯デアリマス、部落相互監視ト云フコトガ相當行ハレタノデアリマスガ、昨年ハ個人割當ガ行ハレマシタ爲ニ、人ハ人、自分ハ自分ト云フヤウナ所カラ、其ノ點モ缺クル所モアツタト思フノデアリマスガ、本年ハ部落ト個人ト兩方共ニ一長一短ガアルノデアリマスガ、其ノ兩方ヲ組合セテ部落ト個人ト共同責任ト云フヤウナコトニ致シマシテ、サウ云フ點モ一つ十分ニ是正出來ルヤウナ方向ニシテ行カウト云フコトデ、今進メテ居ルノデアリマスガ、ソコデ供出上ノ問題ニナツテ來マスルト、サウ云フ風ニ色々從來非常ニ不明確ナ所ガ、本年ハハツキリ致シテ參リマシタノデ、結論トシテハ生産量ダケガ問題ニ實ハナツテ居ルノデアリマス、生産量ノ問題ニ付テハ是モ只今御述ベニナリマシタヤウニ、地方ト我々トノ間方ハ相當違ツテ居リマシテ、尤モ地方デハ其ノ言譯ト致シマシテ、八月一日ノ現在ノ狀況ヲ報告シタノデ、其ノ後天候モ理想的ニ近イヤウナ狀況デアリ、又病害蟲其ノ他モ一部ハ起リマシタケレドモ、殆ド問題ニモナラナイ、又例年ノ風水害ノ問題モナリ、ソコデ八月一日現在ノ報告シテ居リマシタ數字ヲ訂正シテ居ル向モ少クアリマセヌ、又斯ウ云フ時世デ輿論ガ承知シナイ、例ヘバ群馬、千葉デ最

近毎日新聞デ相當叩カレタ點ガアリマスガ、斯ウ云フ世間ガ承知シナイト云フコトデ、府縣モ相當其ノ點ニ付テハ、關心ヲ持ツテヤツテ來テ呉レテ居リマシタ、併シ尙且十分ノ點ガ細無トハ申セナイノデアリマス、サウナツテ來マスト結局生産量ノ問題ハ、純技術的ノ問題ニナツテ來ル譯デアリマシテ、私共ト致シマシテハ平生生産基準量ト云フモノヲ見マシテ、之ヲ出シマスノハ單純ニ、純技術的、是モ御承知ノヤウニ農事試驗場等デヤツテ居リマス、豐凶考照試驗ト云フモノヲ基礎ニ致シマシテ、更ニ氣象臺等ノ協力ヲ得マシテ、本年ノ氣象狀況、例年トノ比較ノ氣象狀況ヲ基礎ニ致シマシテ、基準生産量ヲ一ツ出シテ、之ヲ府縣ニ當テテ居ル譯デアリマス、ソコデサウ云フモノヲ基礎ニ致シマシテ、實際ノ生産量ト違フ點ハ、純技術的ニ試驗場ノ人デアリマス、或ハ農業會ノ技術員デアリマス、勿論民主的ノ觀點カラ、市町村食糧調整委員會ノ人達モ一回ハ出サセマスガ、サウ云フ風ニ致シマシテ純技術的ニ此ノ問題ヲ取扱ツテ、問題ヲ公ケニシテヤツテ行カウデヤナイカト云フコトデ、其ノ方ノコトモ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレト同時ニ國ノ食糧検査所、是ハ最近ハ實ハ調査ガ主ニナツテ居リマスガ、御互ヒ自分ノ分擔シテ居ル區域ダケデハナクツテ、隣近所デ交互ニ人ノ土地ヲ見合ハウト云フコトデ、麥カラヤツテ居ルノデアリマスガ、此ノ點ハ今御話ニナリマシタヤウニ、不十分デアラウト思ヒマス、從ツテ此ノ點ハ相當今後強化シテ行カケレバナラヌト思ヒマスガ、同時ニ政府ガ直屬シタ調査機關ト云フヤウナモノヲ持タナケレ

バ、其ノ職員ガ府縣廳ノ職員デアリ、又其ノ人間ガ其ノ市町村ノ人間ダト云フコトニナリマス、ドウシテモ人情カラ、又其ノ他色々ノ經濟的ノ制約カラ致シマシテ、上ニ行ク途ノ間ニ數字ガボヤケテシマフト云フヤウナコトモアラウカト思ヒマス、此ノ點ハ實ハ司令部邊リデモ非常ニ關心ヲ持ツテ居ルノデアリマス、ケレドモ、斯ウ云フ一ツ新ラシイヤリ方ヲ考ヘナケレバナラヌデヤナイカト云フ風ニ、實ハ進メテ居ル次第デアリマス

○子爵土屋直君 今ノ點ニ關聯シテ御伺ヒ致シタイト思ヒマス、農家保有食糧平均四合ト云フノハ、米ダケノ保有食糧、詰リ米ダケケナンデゴザイマス、ソレト主食四合ト云フノデゴザイマス、ソレニ付テ全國ノ收穫量ノ何割ヲ占メルコトニ農家ノ保有米ガナルカ、食糧ノ完全内地自給ト云フノハ不可能デアルコトハ本會議デ農林大臣カラ伺ヒマシタケレドモ、都市ヘノ配給ノ不足量ハドウシテ補填シテ行カノカ、進駐軍ノ關係モアルカト存ジマスガ、其ノコト、ソレカラ供出餘剩米ニ對スル自由販賣ハ先日ノ本會議デ農林大臣ハ全然認メナイト云フ御言明ガゴザイマシタガ、理論上ニ成ル程サウ云フモノハナイ譯デゴザイマスガ、實際ハ餘程餘剩米ガ出來ルノデゴザイマス、サウ云フコトニ關聯シマシテ、強權變動ナドト云フコトノ農家ノ良心的ナモノニ明瞭性ヲ缺カヤウナコトニハナリハシナイカト思フノデアリマスガ、占領目的ニ關係アルコトトハ存ジマスガ、チヨット伺ヒタイト思ヒマス

上ゲマスガ、米麥、甘藷其ノ他ノモノヲ通ジテ實ハ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマシテ、全國的ニ申シマス、大體ハ多少正確ヲ缺イテ居ルカモ分リマセヌガ、七十七・五「パーセント」ガ米、其ノ他ガ二十二・五「パーセント」ガ麥デアリマス、トカサ類、サウ云フモノデ賄ハレルヤウナ見當デアリマス、尤モ是ハ地域的ニ依ツテ違ツテ參ルコトハ御承知ノ通りデアリマス、東北トカ、北陸其ノ他米ノ單作地帯、外ノ雜穀トカサ類ノ少イ地帯ハソレデケ米ガ多クナリマシテ、他ノ二毛作地帯ニ於キマシテハ、米以外ノ食糧ガ多クナツテ來ルノデアリマスガ、是ハ只今申シマシタ比率ハ大體從來ノ消費實績ト云フモノカラ勘案致シマス、サウ云フヤウナ數字ニナルノデアリマス、ソレカラサウ云フコトデ行キマス、大體米トシテドノ程度ニナルカト云フ御尋デアリマスガ、是モ飯米農家ト云フモノノ數字ヲハツキリ擲マナケレバナリマセヌ、サウ云フコトハ先程申上ゲマシタヤウニ、本年ハ一年間ノ保有食糧ヲ持チ得ナイ、持テナイ農家ニハ供出割當ヲ致シマセヌ、其ノ數量ヲ落シテ參ラナケレバナリナイノデアリマス、從來ノヤウニ飯米農家ニ對シマシテモ、割當シタ時ニハ相當ハツキリシタ數字ガ出マスガ、本年ハサウ云フ事情デ多少狂ヒガアラウカト思ヒマス、大體私共ハ三千萬石程度ノモノデハナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、後ハ勿論ソレハ全農家ノ一年分ノ食糧デハナイノデアリマシテ、今申シマシタ部落農家ニ對シマシテハ、別ニ配給ヲ致サナケレバナリナイノデアリマス、デスカラ言ヒ換ヘテ申シマスルト、假リ二六千萬石トスレバ、供出ガ

三千萬石、残り三千萬石、斯ウ云フコトニナルヲデヤナイカト考ヘテ居リマス、ソレカラ消費ニ對スル問題アリマスガ、是ハモホ消費者ノ數越テ現在ノ二合一ウデ行フ、或ハ二合三ウデ行ク、二合五ウデ行ク場合ニ依ツテ數字ハ違ツテ來ルト思ヒマスガ、併シ假ニ二合五ウデ行ク見シタ場合ニハ結局輸入食糧ヲ相當入レテ賈ハナケレバナラス、大雜把ニ申シテ本年ノ三倍程度ノ輸入食糧ハ入レテ賈ハナケレバナラナイデヤナイカト、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ル次第デアリマスガ、此ノ點ハ現在司令部折衝ヲシテ居リマス、司令部ハ又司令部本國ニ對シテ折衝ヲ續ケテ居リマシテ、本國デハ是ハ日本ニドレダケ出スカト云フコトハ、實ハ「アメリカ」ノ陸軍省ノ豫算ノ類ニ依ツテ決ルノデアリマス、現在ハ御承知ノヤウニ貿易關係ハゴザイマセヌノデ、總テ「アメリカ」ノ陸軍省ノ豫算ヲ揭示シ、陸軍省デ買ツテ日本ニ持ツテ來ル、斯ウ云フ恰好ニナツテ居リマスノデ陸軍省ノ豫算ガ決定致シマセヌトハツキリシタ數字ハ決マラナイ、現在豫算委員會方角フデモ開カレテ居ルサウデアリマス、從ツテドレダケノ増配ガ出來ルカト云フコトニ付キマシテモ、實ハ此ノ委員會ハ決定如何ニ懸ツテ居ルヤウナ状態デ、勿論私共トシマシテハ出來ルダケ多クノ増配ヲ期待シテ居リマスルシ、司令部自體ト致シマシテモ其ノ點ハ全ク我々ト同様ノ觀點カラ努力ヲシテ與レテ居リマスルガ、今申上ゲマシタヤウナ情勢デアリマスノデ、マダハツキリ致シテ居ラナイノデアリマス、ソレカラ此ノ餘剩食糧ノ自由販賣ノ問題デスガ、此ノ點ニ付キマシテハ是ハモウ能ク御承知ノ通

リデアリマスガ、農家ノ一部ニハサウ云フヤウナ希望ノアルコトハ確カデアリマスルシ、又政黨ノ一部ニ於キマシテモサウ云フコトヲ主張シテ居ラレハコトモ事實デアリマス、其ノ點ハ結局生産意欲ノ向上ト云フ觀點カラ出來ルダケ出來タモノハ何デモ彼デモ全部政府ニ取上ゲルト云フコトデハ、先程モチヨツト御觸レニナリマシタガ、精農ニ對スル對策トシテハ決シテ十分デハナイ、同時ニ一般ノ現在ノ價額ノ割點、割價格トノ脫合ヒカ、色々サウ云フヤウナ點カラ言ツテモ不十分デ、是ハ自由販賣ニ是非シテ宜イデヤナイカト云フコトヲ一部デハ今申上ゲマスヤウニ意見トシテハ出テ居ルノデアリマスガ、併シ先程來申上ゲマスヤウナ外カラ入レテ賈ハナケレバナラヌヤウナ状態ニ於テ、ソレトモウツハ食糧ガ完全ニ解決シタ状態デハナイノデアリマシテ、矢張り相當此ノ消費者トシテハ不足ヲ感ズル時代ニ於キマシテ、斯ウ云フヤウナ自由販賣ヲ致スコトハドレダケノ弊害ガアル、又對外的ニモドレダケノ惡影響ガアルカト云フコトヲ考ヘマス、私共ト致シマシテハ到底此ノ問題ハ承諾出來ナイ、又實行出來ナイ問題デアラウト存ジマス、此ノ點ニ付テハ私共ノ態度ト申シマス、政府ノ態度ハハツキリ自由販賣ハ認メナイト云フコトデ進ンデ居ルヤウナ次第デアリマス

○子爵土屋直君 次ニ供出代金ニ關スル四ツノ點デ農林當局ノ御意見ヲ承リタイ、最初ハ農業勞働賃銀ニ付テノ問題デゴザイマスガ、米ノ生産費ハ農家トシテハ自家勞働ノ部分ハ決シテ考ヘテ居ナイノデアリマシテ、手不足ノ場合ニ已ムラ得ズ儲ハナケレバナラナイ輸入ノ勞賃ガ問題ナノデアリマス、此ノ日當ノ勞賃餘リニ高イシ、其ノ上ニ白米等ヲ要求サレルヤウデ、自然安クテハ供出ラレフコト云フ結果ニナルノデアリマス、ソコデ伺ヒタイノハ當局ニ於テハ農家ノ輸入勞賃ニ對シ、妥當ナル最高限度價格ヲ確立サレ、又普及サレ一方勞賃ノ徹底的取締ヲ爲サレ上ニドシテ方法ヲ取ラレヨウトスルノデアルカ、其ノ第二點ハ、供出代金ノ農業會預金ノ支拂資金ニ關シテゴザイマス、本年春麥、馬鈴薯ノ代金ハ一應農業會ノ自由預金ニナツテ居ル、ソレヲ農民ガ支拂ヲ要求ニ行クト、農業會デハ、常ニ支拂資金ガ缺乏シテ居ルト云ツテナカ、現金ヲ渡サナイノガ現状デアリマス、此ノコトガ農業會ニ對シテハ、供出代金ハ當ニナラヌト云フ觀念ヲ與ヘルノデゴザイマス、ソコデ御伺ヒ致シタイノハ、農業會ノ供出代金ノ支拂資金ハドシナ「ルー」ト「農業會」へ渡ツテ居ルニ、又地方來潤漏スルコトノナイヤウニ、又地方ノ農業會ノ會計ヲ當局ニ於テ監督セラレ、供出代金ノ支拂資金ノ殘高ガ不足シテ居ルカドウカ、又他ニ流用サレテ居ルカドウカ云フヤウナコトノ御取締ヲナサレ、モツト徹底サレルヤウニ御取締リヲ願ヘルノデアリカ、第三點ハ、供出代金ニ對スル所得稅徵收ニ付テ、是ハ大藏省ト御連絡ガアルカト思ヒマスガ、農林省トシテハ御意見ハドウナシデアリカ、關ニ流セバ、價格ガ高イバカリマスカ、閣下流セバ、價格ガ低イバカリマスカ、本年相當閣下シテ居ルノ建前デ稅務署ノ在定ヲ受ケテ居ルノデゴザイマス、ソコデ大農ハ供出ラレフモノデアリマス、私ハ供出物代金ニ對スル課稅ガ、單ニ農家ノ動

勞所得デアアルカラ撤廢セヨト申スノデハゴザイマセヌ、假令豐作ニナツテ、遺下點デハ恐レコトガナクテモ、農產物ノ價格ガ下落シテモ、收入ガ公クニサレテ所得稅ノカカルコトガ自然供出忌避ノ心ヲ農民ノ心底ニ抱カシテ、主食ガ正規「ルート」ヨリ脱走ヲ望ミ、自家用以上ノ生産ヲシナイト云フヤウナコトニナルノデ、農家ノ所得稅ハ、關ヲ根絶スル意味デ供出代金以外ノ他ノ所得ニ對スル査定ト云フモノダケ決定サレテハ如何カト思フノデアリマス、第四點ハ、是ハ只今出テ居リマス競馬法トノ關係モゴザイマスガ、競馬收入ヲ食糧生産、其ノ他ノ面ニ用ヒ、農家ニ非常ニ滞留シテ居リマス新圖ヲ農村ニ於ケル病院等ノ社會政策ノ方ニ使フトカ、或ハ之ヲ良導シテ、農家ノ生活費ノ引下ニ充テルトカ、詰リ農家ノ生活必需品ノ方ニソレヲ向ケテ供出促進ノ根源ニナサル御考ハナイカト云フノデゴザイマス、以上ノ點ノ御答ヲ戴キタイト思ヒマス

○政府委員(補見義男君) 御答(申上)デマス、第一ノ點ノ農業勞賃ノ問題デスガ、御話ニナリマスヤウニ、農業勞賃ハ、此ノ所定ノ「實」ハ上ツテ居テ居リマス、又農業勞賃ノ外ニ、色々食糧トカ、サウ云フ物ノ抱合ヒニ依ル要求等モアルコトハ事實デアリマス、此ノ問題ハ一般ノ勞賃ノ影響ヲ如實ニ受ケテ來テ居ルノデアリマシテ、從來ハ例ヘバ都市ノ勞賃ト農業勞賃トノ間ニハ相當ノ差ガゴザイマシタ、例ヘバ地方ノ都市勞賃ガ百ノ場合ニ、農業勞賃ハ七十デアルトカ或ハ七十五デアルトカ云フヤウニ、此ノ相違ハアツタノデアリマスガ、最近ノ情勢ハ漸次是ガ相違セ傾向ヲ示シテ居ルノデアリマス、從ツテ農業勞賃ノミニ觀點カラ此ノ問題ヲ實ハ取上ゲルトハ困難デアリマシテ、一般ノ勞賃ト云フモノヲドウ云フ風ニ持ツテ行クカト云フコトニ大キナ關係ヲ持チ、又是ト分離シテ問題ノ解決ハ困難デハナイカト思フノデアリマス、今迄ノ勞賃ノ昂騰ヲ致シマシタ原因ハ、是ハ申上ゲル迄モナク、食糧事情ガ非常ニ惡ウゴザイマシタ爲ニ、勞賃ガ高クナツタノデアリマスガ、此ノ事態ガ惡循環ヲ致シマシテ、結局食糧ノ供出ニモ影響ヲシ、供出ガ少ナケレバソレダケ閣下多クナツテ來ルト云フ風ニ常ニ惡循環ヲ致シマシテ、一般勞賃ヨリ昂騰シ、全般的ニハ相當セノ傾向ヲ示シテ居ル、農業勞賃ハ大キナ傾向ヲ示シテ居ルノデアリマス、幸ヒ食糧事情モ安定ヲシテ參ルト云フコトニナリ、又一般ノ勞賃ト云フモノモ、復員其ノ他ノ關係ガ漸次需要ニ對スル供給ノ方ガ多クナツテ來ルト云フコトデ、勞賃ト云フモノハ落著クノデハナイカト思ヒマス、斯ウ云フコトハ、都市ヨリモ農村ノ方ガ、現在ノ狀況ニ於キマシテハ、何ト云ヒマスカ敏感ニ行クコトト思フノデアリマス、從ツテ勞賃ノ今後ノ行キ方ト云フモノハ相當低ヤウニ落著クノデハナイカ、斯ウ云フヤウニ實ハ考ヘテ居ルノデアリマス、尙一般ノ勞賃ニ對スル問題ニ付キマシテハ、厚生省及經濟安定本部デモ相當檢討ヲセラレテ居ルヤウデゴザイマスルシ、特ニ勞賃ノ問題ニ付キマシテハ、司令部ハ特ニ物價問題ノ中心トシテ非常ナ關心ヲ持ツテ經濟安定本部ニ期待ヲ掛ケテ居ルヤウデアリマス、サウ云フヤウナ狀況デゴザイマス、ソレカラ二番目ノ供出ノ支拂代金ノ問題デアリマスガ、此ノ問題ニ付キマシテ

ハ、御述べニナリマシタヤウニ、一時非常ニ不圓滑ナコトガゴザイマシタ、是ハ日銀券ガ農業會ノ方面ニ行キ渡ッテ居ラナイ、是ハ全部デハゴザイマセヌガ、一部ニハ折角日本銀行券ガ地方ノ日本銀行ノ支店ニ行キマシタ場合ニ、農業會方面ガ後進シテ、一般商工業方面ノ從來ノ取引銀行ノ方ニ流レタトカ云フヤウナコトモ、一部ハ略テ止リマシタガ、一部ハ事實デアッタヤウデアリマス、從ツテ私共ハ其ノ點ハ大藏省ニ強ク言ヒマシタ、現在大藏省デハサウ云フヤウナコトハナイと言ッテ居リマスガ、併シ具體的ニ尙不圓滑ナ點ハアラウカト思ヒマス、始終私共ハ此ノ點ニ氣ヲ付ケテ居ルノデアリマスガ、更ニ一層此ノ點ハ改革致シマシテ、サウ云フコトノナイヤウニ、是モ先程來申シマスヤウニ、斯ウ云フコトカラ供出ガウマク行カヌト云フコトナリマス、折角大筋ノ方面ヲ一生懸命ヤツテ居リマシテモ、一番農家ニビシト來ル方面ニ手落アルト、政府ニ對スル不信ヲ抱カセ、又農業會ニ對スル不信ヲ抱カセ、其ノ爲ニ供出全體ニ大キナ影響ヲ及スコトハ御懸念ノ通りデアリマス、十分私共ハ此ノ點ハ留意シテ参リタイ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス、ソレカラ所得稅ノ撤廢ノ問題デアリマスガ、此ノ點ハ大藏省方面デモ撤廢ノ意思ハナイト承知致シテ居リマス、實ハ此ノ點勞務所得稅ノ問題ニ關聯シマシテ、關稅格ヲ基準ニシテ適當ナ額ヲシタ所モアルヤウデアリマス、勿論地方的ニハ其ノ査定ガ的確デアル所モアツタと思ヒマスガ、的確ト申シマス意味ハ、都市近郊ガ相當ニヤリ、ソレダケノモノヲ賦課サレルニ關シタ所モアツタヤウデアリマ

スガ、併シ一律ニサウ云フ方針ヲ探ツテ、是ハ勿論中央デノ意圖デハナイト思ヒマスガ、得テシテ末端ニ行キマストサウ云フ一律的ナコトヲヤリマス爲ニ、今御話ニナリマシタヤウ農民ニ對シテ非常ニ不安ヲ與ヘ、又困ラシタコトモアルヤウデアリマス、從ツテ此ノ點ハ私共モ大藏省ニ酷ク申入レ致シマシテ、十分其ノ點ヲ再調査シテ裁ク云フコトデ、東京都ノ近郊邊リモ再調査ヲシテ費フヤウニナツテ居ルノデアリマス、サウ云フコトデ進シテ行クヨリ外今ノ所デハ途ガナイト斯様ニ思ッテ居ルノデアリマス、ソレカラ最後ニ新團ノ利用ノ問題デアリマスガ、此ノ問題モ貨幣ニ對スル、又金融機關ニ對スル信用問題ガ解決致シマセト根本的ニハナカノムツカシイ問題デアラウト思フノデアリマス、此ノ點特ニ政府トシテハ信用回復、信用維持ノ觀點カラ十分宣傳モシ、趣旨モ徹底シナケレバナラヌト思ヒマス、サウシナイト根本ニサウ云フヤウ不安ナ點ガアリマスレバ、ナカノムツカシイ點ヲ思フノデアリマスガ、ソレハソレト致シマシテ、一面農家ノ斯ウ云フモノヲドウ云フ風ニ持ツテ行カト云フコトデアリマスガ、例ヘバ今同ノ農地制度ノ改革ニ付キマシテモ、出來ルダケ現金デ買ハセルトカ云フヤウナコトモ一ツノ行キ方デアリマセウガ、更ニ農村全體トシテ今後ノ行キ方ト致シマスレバ、色々將來ノ農村ノ行キ方、在リ方ニ付テハ議論ノアル所デアリマスカ、出來ルダケ之ヲ農村ノ經營ノ合理化、或ハ多角化、農產物ノ加工デアリマスとか、其ノ他有畜農業ノ獎勵デアリマスとか、農業經營ノ改善ト云フコトニ付テハ、特ニ生産面ニ於テ色々爲

スベキコトガ多カラウト思フノデアリマス、實ハ是モ餘談デアリマスガ、中央金庫カラノ農業會ニ對スル貸出ト云フモノモコト數年ハ殆ど動イテ居リマセヌ、是ハ結局戰爭中ニ於ケル資金ノ需要ト云フモノガ一方デハ起ラナカツタコトデアラウカト思フノデアリマスカ、ガ併シ是カラ今申シマスヤウナ觀點カラ致シマスレバ、農村デハ相當金ノ要ル仕事ガ多クナリ、又サウ云フ方向ニ持ツテ行カナケレバ、一面農業經營ノ改善ト云フ點トモ「マツ」シナイコトガ少クナイハデハナイカト思フノデアリマス、從ツテサウ云フヤウナ農業改善經營ノ多角化、合理化ト云フコトノ指導ト同時ニ、サウ云フ方面ノ金ノ利用ト云フコトニ付テモ併セテ考ヘル必要ガアラウト斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス

○子爵土屋直君 農林大臣ニ御答ヘ願ヒタイノデアリマスガ、供出見返リ品ノ配給並ニ相當ニ付テ一元の何カ機構ヲ創設サレル御考ハナイカト云フコト何ヒタイト思ヒマス、只今農民ノ間デ能ク政府ニ籲サレタ等ト云フ言葉ヲ都合ノ好イ時ニ使ヒマスガ、是ハ見返リ品ナシカガウマク行ツテ居ナイ所ノ關係デ、寧ろ商工省ノ御關係デ、農民ハ一途ニ農林省ガ惡イノダト思ツテ居ルカラ農林省トシテハ御迷惑ダトバ思ヒマスレドモ、此ノ見返リ品ト供出トガ商工省ト農林省ト兩當局ニ分レテ居ルコトガ何カ差支ガ出來テ惡イノデハナイカト私共思ヒマスノデ、完全ナ一元の機構ヲ兩省ノ間デ御作リニナルトカ云フ御考ハナイカ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(和田博雄君) 御答ヘシマス、御話ノヤウニ供出ニ對シマスル報

奨用ノ物資ガ確實ニ農家ノ手ニ入リマスコトニ付テハ、供出ノ確保ノ上カラモ非常ニ效果ガアルコトデゴザイマシテ、我々トモ報奨用ノ物資ニ付キマシテハ、政府トシテ外ノ物ニ較ベマスレバ非常ニ苦心ヲシテヤツテハ居リマスカ、ドウモ結果カラ見テ農家が満足スルヤウナコトニナツテ居ナカツタ點ガ多クアルノデアリマス、ソレニハ配給ノ「ルート」ノ點ニ付テモ問題ガアツタト思フノデアリマス、我々農林省ノ立場カラデカ考ヘマスレバ、是ハ農家ニ直接觸レテ居リマス農業團體ノ手ヲ通ジテ一元のニヤリマスルコトガ一番效果ガ多イノデアリマシテ、肥料デアリマスとか、其ノ他サウ云フタモノ現在デモ一元のニズツト行ツテ居ルノデアリマス、他ノモノニ付テハ上ノ方ハ矢張り從來ハ二元のニナツテ居ツタノデアリマス、末端ニ於テモサウ云フ點ガアツタト思フノデアリマス、處ガ先般ノ報奨用物資ニ付キマシテハ最末端ニ於テハ、是ハ市町村ノ農業會ヲ通ジテ一元のニヤルト云フコトニ致シマシタ、是ハ外ノ一般ノ物資、農家ノ必要物資ハソコ迄ハ行キマセヌガ、報奨用ノモノニ付キマシテハ最末端ニ於テハ、是ハ市町村ノ農業會ヲ通ジテ一元のニヤツテ行クハ、唯從來ヤツテ居ツタ商人側ノ方ノ共同何ト云ヒマスガ、サウ云フ所ガ實際上確實ニヒマカヤツテ行クヤウナ所ガアリマスレバ、是ハ市町村ノ農業會ト一體ニナツテヤツテ行クハ、併シ原則ハ是ハ市町村ノ農業會ト一體デアルノダト云フヤウニ決メマシテ、確力兩省ノ次官ノ通牒ノ形デ出シテ居ルヤウナ次第デアリマス、ソレカラモウ一ツ其ノ點ニ付テ考ヘナケレバナリマセヌハ、報奨用ノ物資

ガ實際ニ村ニ行キマシタ時ニ、ソレガドノ位ノ數量ガドレダケ一體何時來タカト云フコトヲ矢張り農民ニ知ラセラルコトガ實際上ニ必要ナンデアリマス、是ハ丁度御話ガ出マシタカラ御話シテ宜イト思フノデアリマスガ、今回ヤラウト云フ供出、又今ヤツテ居ル麥ノ供出ナカデモ供出ノ割當ニ付テ、其ノ割當ヲ受ケタ者ガ納得スレバ直グ供出ガ出來ルノデアリマス、是ハ確カ三重縣ノ農業會ダト思ヒマスガ、私ハ話ヲ聞イタノデアリマスガ、地方新聞ニモ出タノデアリマスガ、或町村農業會デ報奨用物資ノ個人ノ數額ヲ町ノ要所々々ニ貼出シタ譯デス、皆ニ知レルヤウニ、サウシマス、成ル程アスコノ者モ此ノ程度ダ、斯ウダト云フノデ、御互ヒノ間ガ分ルモノデスカラ、非常ニ能ク皆納得シテ、僅カ五日デ率カ何カノ供出ガ出來タ、サウ云フ事例ガアリマス、其ノ次ノ二、三ノ村デ又ソレヲ眞似テ、サウ云フコトヲヤル、サウスルト今迄遲レテ居ツタノガ出テ來ルト云フ、斯ウ云フ形デアリマスコノデ、ドウシテモ農家ニ知ラセテ農家ニ納得サスト云フコトガ根本ダラウト思ヒマス、是ハ農家ノ實ヒマス方面ノモノ、又出ス方面ノモノニ付テモ同様デアリマシテ、其ノ點私共トシテハ從來肥料ニ付テモ農家ノ行クノ兎角發表シテ居リマセヌデシタガ、是ハ一箇月ニ二回位、是ハ村ノ末端迄ヤルコトハナカノ困難デアリマセウガ、其ノ發表ヲ縣ナラ縣ノ農業會發表シタモノヲ村ノ農業會ニ知ラセ、村ノ農業會ハ又ソレヲ其ノ農家ニ知ラセ、斯ウ云フコトニ致シマスレバ、成ル程はダケシカ來ナイメダカラ、是ハ確實ナ數字ダト云フコトガ能ク分リマ

シテ、誤解カラ來ル所ノ不平ガナクナ
ツテ來ルダラウ、斯ウ思ツテ出來ルダ
ケサウ云フヤウニヤツテ居ル次第デア
リマス、報奨用物資ニ付テハ一應未
端迄一元化サレルコトニナリマシタ、
尙其ノ點ニ於テハ上層ノ方デハ色々問
題ガ残ツテ居ル、ソレニ付テハ出來ル
ダケウマク調整シテ行カウト斯ウ考ヘ
テ居リマス

○松本學君 只今ノ御質問ニチヨツト
關聯シテ伺ツテ置キタイと思ヒマス、
供出ヲサセマシタ後農家ガ自由ニス
ルト云フコトノ議論ガ、今ノ御話ニナ
リマシタヤウニ農民ノ方ノ希望モアリ
マスシ、政黨ノ一部ノ方デモサウ云フ
聲ガアリマスシ、國民ノ中ニモサウ云
フヤウナ議論ガ大分アルノデアリマ
ス、今御答中ニアリマシタガ、私共
モ矢張り或程度此ノ自由ヲ認メルト云
フコトガ生意氣欲ヲ昂メルトコトデア
ルシ、食糧ノ集荷ノ量ヲ多クスル、出來
ルダケ澤山ノ量ヲ集荷スルト云フコト
ガ今日ノ急務デアリマスカラ、其ノ手
段トシテモ最良ノ方法デヤナイカト
思ハレルノデ、サウ云フコトヲ考ヘテ
居ツタノデアリマスガ、先達テモ新聞
ニ其ノコトガ出テ閣議決定ニナツタ
ト云フコトデ一部デハ大分喜ンデ居ツ
タヤウデアリマスガ、農林大臣ガ之ヲ
御取消シニナツタト云フコトモ先達テ新
聞ニ出テ居リマシタ、ドコニ其ノ自由
ニスルトコトガ出來ナイト云フ理由ガア
ルノデアルカ、衆議院デモ此ノ議論ガ
度々出タヤウデアリマスガ、新聞等デ
モソレヲ拜見シマスガ、之ヲ自由ニス
レバ一部ノ金ヲ持ツテ居ル人ダケガ食
糧ヲ專ラニシテ、サウデナイ者ガ食ニ困
ルト云フコトニナルコトガ宜シクナイ
コトデアアルカラ、食糧不足ノ時ニハ

ウシテモ統制シナケレバナラヌト云フ
御意見ノヤウニ拜聴致シマシタガ、只
今ノ農林次官カラノ御答ノ中ニ何カ輪
入ヲスルト云フ必要ガアルカラト云フ
御言葉ガアツタヤウニ、チヨツト私ハ
聞キ違ツタカモ知レマセヌガ、承ツタ
ガ、何カサウ云フヤウナ事情ガアルノ
デゴザイマスカ

○國務大臣(和田博雄君) 私カラ御答
ヘ致シマスルガ、農家ガ供出シマシタ
後ノ自由ニ處分スルコトヲ許シタラ宜
イデヤナイカト云フ意見ヲ持タレテ居
ル方ハ色々アルと思ヒマス、サウシテ
ソレハ抽象的ニ考ヘマス、サウ云フ
御意見ヲ抱カレルコトモ或程度ニ於テ
ハ尤モダト言ヘルノデアリマスガ、唯
私共ハ今ハサウ云フ時期トシテハ適當
デモナシ、進モ實行モ出來ナイコトト
思ヒマスノハ、大分難クデ民心ガ安定
シテ來マシタノト、又來食糧年度カラ
ハ是ハ向フトノ交渉デ正確ニハ發表出
來マセヌガ、是非増配ヲヤリタイと思
ツテ居リマス、サウスルトコトノ希望デ
可ナリ落著イテ來テ居ル譯デアリマス
ガ、併シ何ト云ヒマシテモマダ絕對量
ニ於テハ或程度ノ輸入ヲ一ツハ仰ガナ
ケレバナラナイノデ、ソレカラ今年
ノ、來食糧年度ノ供出ノ如何ガ實際ハ
日本ノ將來ノ食糧ノ何ヲ決定スルと思
フノデス、ソレ位非常ニ重要ナ時期ダ
ト私ハ考ヘマス、其ノ時ニ供出シテシ
マツタ後ノモノヲ自由販賣出來ルノダ
ト斯ウ云フコトニナリマス、實ハ今
迄ノ情性ト言ヒマスカ、是非非常ニ殘
念デアリマスガ、生産見込ヲ各縣デハ
非常ニ少ク言ツテ來ルノデアリマス、
此ノ弊害ハ拔ケマセヌ、私ハ地方ノ長
官達ニハ此ノ間カラ供出額當ヲヤツテ
居ルノデアリマスガ、今年ハ口ヲ酸ツ

バクシテ、ドウカ去年ノヤウニ普通ノ
常識カラ考ヘテ日本ノ農業ノ事情ヲ少
シデモ知ツテ居ル者ナラバ、如何ニ肥
料ガ足りナクテモ天候ガ悪カツタト言
ヘ米ガ四千萬石ヲ割ル、三千九百萬石
幾ラト一般ニ言ヘテ居リマスガ、サ
ウ云フ生産高デアルト云フコトハ是ハ
私達長久間農業ニ關係シテ居ツタ者ノ
常識デハ考ヘラレナイノデアリマス、
サウ云フコトガ實際上出テ來テ、ソレ
ガドウモ動カナイト云フ形デ行ケバ、
是ハドシナ年デモナカノ、官行カナ
イノデアリマシタ、ソコラハドウカ大
所高所カラ考ヘテ、從來ノ此ノ弊害ト
云フモノハ此ノ際頭ヲ切換ヘテハツキ
リヤツテ置キタイト云フコトヲ此ノ間
カラ御協力ヲ願ツテ居ル譯デアリマス
ガ、ドウシテモ生産高ヲ正確ニ、科學
的ニ把握スルト云フコトカラ我々ハ萬
全ノ努力ヲ拂ツテ前カラヤツテ居ル譯
デアリマスガ、矢張り人間ノヤルコト
デアリマスカラ、ドウシテモソコニ或
程度ノ何ガ出テ來ル譯デアリマス、サ
ウ云フヤウナ狀態デアリマスノデ、假
ニサウ云フコトニナリマスレバ、是ハ
益々サウスル折角農作氣構デアツ
テ、今年ハ供出ヲ滑カニ、去年ノヤウ
ニ困難ヲ起サズ早期ニ割當テ、而モ其
ノ供出額割當テニ付テハ農家ノ側ニ
兎ニ角農業ノ再生産ニ必要ナダケノ自
家保有米ハハツキリ認メテ、經營上何等
支障ノナイヤウナ方式ヲヤツテ置イテス
ラモ供出額圓滑ニシテ行カウ、斯ウ云
フ建前ヲ探ツテ居ル時根柢ガ崩レテ來
ルト思フ、サウシマス、是ハ成程アト
ニナツタサウ云フモノガ出テ來ルカラ
宜イデヤナイカト云フコトデハ實ハ濟
マサレナイノデアリマス、從ヒマシテ

サウ云フ觀點カラシマシテモ、供出制
度ヲ官クヤツテ行ク上カラモ是ハドウ
シテモ餘剩米ノ自由販賣ト云フモノハ
認メラレナイノデアツテ、ソレ等ノ餘
剩米ニ付テハ別途ノ考ヘ方ヲシテ行
ク、斯ウ云フ體制ヲ今年ハ實ハ探ツタ
ク、サウナ譯デアリマス、此ノ點ハ唯農家
ノ側ノ、サウ言ヒマシタ個々ノ農家ノ
意欲ノ方カラハ言ヘナイノデアリマシ
テ、矢張り全體ノ立場カラ十分有ラ
ユル條件ヲ考ヘテ善處シタイト斯ウ思
ツテ、我々トシマシテハ只今ノ所餘剩
米ヲ自由販賣スルト云フ考ヘナイノ
デアリマス、殊ニ今日ハ還元米ノ問題
ヲ、一旦政府ガ買ツテ置イテ又農家ニ
還元スルト云フヤウナ問題ヲ農家ノ自
家保有ノ確保ト云フ點ト、ソレカラコ
シナ點カラ實ハ解消致シマシテ、サウ
云フ二重ノ無駄ノ手間ヲヤラナイヤウ
ニ考ヘテ居リマスノデ、是ハドツチ
カト言ヘバ、サウ云フ事柄ハ、是ハ農
家ノ方カラ言ツテ寧ろ餘裕ナル大キ
イ所カラノ聲ガ多イノデアリマス、ソ
レト同時ニ又モウ一ツ考ヘルト、假
ニ過小限ニシテモ、若シモ供出割當以外
ノモノハ自由ニ賣レルト云フコト
ニナルト、是ハ供出ト云フモノヲ出來
ルダケ少クシテ、サウ云ツタ割當額
ヨウト云フヤウナ氣ニモナリ兼ねナイ
ノデアリマシテ、是ハ矢張り今ノ食糧
ノ事情カラ、ソレデケノ事情カラ言ツ
テモ我々トシテハドウモ採リ難イ政策
デアリマスノデ、是ガ我々トシテハ認
メ難イト云フ點ガアルノデゴザイマ
ス、ソレカラモウ一ツハ、是ハ聯合軍
ノ方ノ輸出ノ關係ガゴザイマシテ、ソ
レ等ノ點ニ付テ供出割當トカ色々ナ方
針ニ付テハ矢張り向フト十分打合シタ
上デ今實行シテ居ルヤウナコトニナツテ

居ル譯デアリマス、サウ云フヤウナ關
係カラ言ヒマシテモ、ナカノ、困難ナ
點モゴザイマスノデ、今年ハ幸ヒ作年
デアリマスノデ、是ハ農家モ十分自家
保有米モ經營上支障ノナイ限度ニ於テ
許シテ居リマスノデ、其ノ他ノ物ノ値
段モ相當ノ値段デアリマスノデ、是非
是ハ正式ノ「ルート」デ供出シテ戴イ
テ、國民全體ノ食糧ノ安定ヲ政府トシ
テハ圖ツテ行キタイ、斯ウ云フヤウニ
考ヘテ實ハアノ問題ニ付テハ善處スル
ト云フヤウニ考ヘテ居ル次第デアリ
マス

○松本學君 次官ノ先刻ノ御答辯ノ時
ニ輸入ノ必要ト云フヤウニ承ツタノデ
スガ、ソレハドウ云フコトデアリマス
カ、チヨツト其ノ點ヲ次官カラ承リ
タイ

○政府委員(梶見義男君) 御答ヘ申上
ゲマス、實ハ是ハ司令部ノ意圖トシテ
ハ、勿論司令部ノ意圖ノミデナク我々
トシテモ當然ヤラナケレバナラヌコト
デアリマスガ、先ツ國內デ有ラユル
措置ヲ執ツテ、然ル後輸入食糧ヲ仰グ
ト云フコトデ、其ノ觀點カラ致シマス
ト、特ニ食糧ノ如キモノハ統制ヲ一層
強化コスル、統制ヲ緩和シ、或ハソ
レヲ止メルト云フヤウナコトニ付テ
ハ、司令部トシテハ全く同意致シ難イ
點デアルト云フコトヲ常々言ハレテ居
ルノデアリマス、此ノコトハ是モ御承
知ノヤウニ少シ餘談ニナルカト思ヒマ
スガ、國內のニハ今年ノ作柄ガ非常ニ
豐作デアルト云フコトガ、民心ニ安定
感ヲ與ヘテ居リマスルト同時ニ、一面
「アメリカ」ノ輿論カラ見マスルト、ソ
レ程日本ガ良イノナラ何モ日本ニ出ス
必要ガナイノデヤナイカト云フコト
ガ、輿論トシテハ又相當強ク起ツテ來

サウ云フ觀點カラシマシテモ、供出制
度ヲ官クヤツテ行ク上カラモ是ハドウ
シテモ餘剩米ノ自由販賣ト云フモノハ
認メラレナイノデアツテ、ソレ等ノ餘
剩米ニ付テハ別途ノ考ヘ方ヲシテ行
ク、斯ウ云フ體制ヲ今年ハ實ハ探ツタ
ク、サウナ譯デアリマス、此ノ點ハ唯農家
ノ側ノ、サウ言ヒマシタ個々ノ農家ノ
意欲ノ方カラハ言ヘナイノデアリマシ
テ、矢張り全體ノ立場カラ十分有ラ
ユル條件ヲ考ヘテ善處シタイト斯ウ思
ツテ、我々トシマシテハ只今ノ所餘剩
米ヲ自由販賣スルト云フ考ヘナイノ
デアリマス、殊ニ今日ハ還元米ノ問題
ヲ、一旦政府ガ買ツテ置イテ又農家ニ
還元スルト云フヤウナ問題ヲ農家ノ自
家保有ノ確保ト云フ點ト、ソレカラコ
シナ點カラ實ハ解消致シマシテ、サウ
云フ二重ノ無駄ノ手間ヲヤラナイヤウ
ニ考ヘテ居リマスノデ、是ハドツチ
カト言ヘバ、サウ云フ事柄ハ、是ハ農
家ノ方カラ言ツテ寧ろ餘裕ナル大キ
イ所カラノ聲ガ多イノデアリマス、ソ
レト同時ニ又モウ一ツ考ヘルト、假
ニ過小限ニシテモ、若シモ供出割當以外
ノモノハ自由ニ賣レルト云フコト
ニナルト、是ハ供出ト云フモノヲ出來
ルダケ少クシテ、サウ云ツタ割當額
ヨウト云フヤウナ氣ニモナリ兼ねナイ
ノデアリマシテ、是ハ矢張り今ノ食糧
ノ事情カラ、ソレデケノ事情カラ言ツ
テモ我々トシテハドウモ採リ難イ政策
デアリマスノデ、是ガ我々トシテハ認
メ難イト云フ點ガアルノデゴザイマ
ス、ソレカラモウ一ツハ、是ハ聯合軍
ノ方ノ輸出ノ關係ガゴザイマシテ、ソ
レ等ノ點ニ付テ供出割當トカ色々ナ方
針ニ付テハ矢張り向フト十分打合シタ
上デ今實行シテ居ルヤウナコトニナツテ

テ居リマス、併シ先程申上デマスヤ
ウニ、消費者ニ對シマシテモ或程度ノ
増配ヲ期待スル、實行スルト云フ觀點
カラ致シマス、ト云フ觀點モ來年ハ
本年以上ノ數量ノ輸入ヲ期待シナケレ
バナラヌト云フ觀點ニ立タサレテ居ル
ノデアリマシテ、從ツテ之ヲ自由販賣
スル、統制ヲ緩和スル、或ハ撤廢スル
ト云フコトニナリマス、輸入食糧
ヲ期待スル上ニ於テ一番大キナ支障ニ
ナルノデハナカ、斯ウ云フ風ニ考ヘ
テ居リマス、其ノ點ヲ先程申上デ
マシタ次第デゴザイマス

○松本學君 聯合軍トノ間ニ食糧問題
ニ付テ、食糧對策ニ付テ色々御協議
ナツテ居リ、又十分ノ了解ヲ御求メ
ナツテ居ルコトハ當然ノコトト思ヒマス
シ、サウシナクテハナラヌト思ヒマス、
サウシテ聯合軍ノ方ノ協力モ受ケ、援
助モ受ケナケレバナラヌコトニナリマ
セウシ、サウ云フ譯デ向フノ意思モ尊
重セナケレバナラヌ、聯合軍トノ協議
ガモウ決ツテ居ルコト云フコトナラバ、
最早ヤ此處デ以テ色々論議スルトシテ
モ無駄ナコトニナル、併シ輸入ト云フ
コトハ私共ノ考ヘ方デハ最後ノ手段デ
アツテ、ソレコソ飢饉年ニ我々ノ祖先
ガ草ノ根ヲ食ツテモ我慢ヲシタ、國
民ニ此ノ氣概ヘ、心持ト云フモノヲ與
ヘテ、ドンナ苦勞デモスル、出來ル
ケ輸入ヲ少ナクシテ、他人様ノ御厄
介ニナラヌヤウニスルト云フヤウナ精
神狀態ニ國民ヲ持ツテ行クコトガ、特
ニ食糧ノ問題ヤ何カニ付テ大事ナコト
デヤナカト私共考ヘルノデアリマ
ス、最後ノ手段デアアル、デアルカラ先
刻大臣カラモ御話ニナツタヤウニ、非
常ニ「アンビギナス」ナ生産上ノ統計
ヲ基礎ニシテ、來年ナリ再來年ナリノ

食糧計量ト云フモノヲ立テラレテ、サ
ウシテドウシテモ數字上足リナイ、來
年ハモット多クノ輸入ヲセネバナラヌ
ト云フ建前ノヤウニ思ハレルノデアリ
マスガ、ソコガ私共ノ考ヘ方トチヨツ
ト違フ所デアルト思ヒマス、出來ル
ケ輸入ハ少ナクシナケレバナリマセ
ヌ、サウシテ考ヘマヌトスレバ、如何
ニシテ集荷母ヲ多クスルカ、兎ニ角食
糧ハドンノ出テ來サヘスレバ宜イ譯
ナンデ、然ル後ニ配給ノ方法ガ善イカ
悪イカ、或ハ所謂「デイス」トリダ
「シヨ」ノ方ガウマウ「スミス」ニ
行クカ行カヌカト云フコトニナルノ
デ、先ツ先ニ集荷ヲ如何ニシテ多ク
ルカト云フコトガ是ガ一番大事ナヤウ
ニ思フノデアリマス、今御話ノアリマ
シタヤウニ、供出ト云フモノガ全部
出デアツテ、今度ハ御政メニナルト云
フコトデアリマス、カヲ結構デアリマ
ス、ケレドモ、從來ハ全部ヲ供出サセテ、還
元配給ヲスルト云フヤウナヤリ方デア
ツタ爲ニ、統計迄違フツテ、出來ル
ダケ少ナクスル、サウシテ供出量ヲ出
來ルダケ少ナクシヨウト云フヤウナ心
理狀態ニナツテ居タノデアリ、サ
ウシテ又供出ヲ少ナクシテ置イテ出來
ルダケ自分ノ手許ニ持ツテ居ツテ、闇
ニソレヲ流シト云フヤウナコトニ恐ラク
ナツテ居タノデアラウト思ヒマス、
デ私共ノ見マスルノニ、供出ノ方法ト
云フノハ或程度ノ「モデファイ」シテ
モ、是デハドウモウマク行カナイノデ
ヤナカト云フヤウナ心持ガスル、ウ
マク行カナイト云フコトハ、結局集荷
ノ方ガウマク行カナイノデアリカト云
フヤウニ思ハレルノデアリマス、ソコ
デ生産意欲ヲ變ルトカ何トカト云フコ
トバカリデナシニ、政府ノ方デ、政府ト

言ヒマス、カ、兎ニ角農民ノ手カラ食
糧ヲ離シテ、或所ニ集荷スルト云フ效
果カラ言ツテモ、一部分ノ供出ハ是ハ
必要デアリマス、或程度ヲ確保ス
ルダケノ供出ハ命ジテ置イテ、ソレ以
外ノモノニ付テハ農民ノ自由ヲ認メル
ト云フコトニシタ方ガ、却テ集荷ノ方
ニ好結果ヲ來スノデハナカト云フヤ
ウナコトガマア考ヘラレルノデス、實
ハ五月カ、三月頃デアリマシタカ、聯
合軍ノ或相當責任ノアル人デアツタノ
デアリマスガ、其ノ人ノ意見トシテ、
ドウモ日本ノ食糧對策ト云フモノハウ
マク行カナイ、是デハ聯合軍トシテモ
困ル、全部ノ統制ヲヤツ居ルト云フ
所ニ何カ缺點ガアルノデヤナカラウ
カ、矢張り「フリー・トレード」ト云フ
カ、「プライヴエツト・コンサーン」ト
云フヤウナモノヲ使ツテ、或程度自由
ト云フモノヲ與ヘナイト云フ「コレク
チング・ルート」ニ於テドウモ「スミ
ス」ニ行カヌノデヤナカト云フヤ
ウナ意見ガアツテ、ソレヲ私ハ聽イタ
ノデアリマス、ソレデ實ハ三四ノ人ト
集ツテ、ソレヲ土蓋ニシテ或程度ノ自
由ヲ認メタ私案ヲ實ハ作ツテ見タヤ
ウナコトモアルノデアリマス、丁度其ノ
責任者ハ今ハ本國ニ歸ツテ、居マセヌ
ケレドモ、聯合軍ノ方ノ、先刻ノ御話
ノヤウニ意圖トシテ、何處迄モ統制シ
テヤラナケレバイカヌト云フヤウナコ
トデアツテ、御話合ガ付イテ居ルト云
フコトナラバ、是ハモウ今此處ニ一部
分ヲ自由ニシナケレバナラヌト云フ議
論ガアチコチニアツテモ、是ナカノ
實行ノ出來ナイト云フコトニナツテ、
空論ニナリマス、カ、私ハ此處ニ申上
ゲマセヌシ、實ハ其ノ意見モ持ツテ居
リマス、ケレドモ、多少サウ云フ自由

ニ論議ガ出來ルモノナラバ一ツ何カ御
考慮ヲ願フ意味ニ於テ申上ゲテモ宜イ
ト思ヒマシタケレドモ、只今ノ御話デ
アリマス、レバ無駄デアリマス、カ、申上
ゲマセヌケレドモ、唯ドウモ今日迄ノ
食糧ノ對策トシテ見マシテモ、餘リニ
モ統制ト云ヘバ、統制經濟ト云ヘバ、
全的ノ統制經濟ヲ行ヒ、サウシテソコ
ニ農民ヲ神様カ聖人君子カ、然ラザレ
バ機械デアアルカノ如キ考ヘ方デ、對策
ガ立テラレテ居ルヤウニドウモ見エ
ル、ダカラ倫理道德ヲ設イテ、立派ナ
人間ニ直シテシマハナケレバ、效果ガ
上ラナイヤウナ方策ガ立テラレテ居ル
ヤウニ見エルノデアリマシテ、人情ノ
機微ニ觸レタ方策ガ、戰爭中モ今日モ
立ツテ居ラナイヤウデアリマス、是ハ
結局極端ナル統制ノ爲デヤナカト思
ハレル、私ハ政治ト云フモノハ統制ト
自由ト云フモノノ「バランス」ヲ取ル
「ポイント」ヲ何處ニ置カト云フコ
トガ政治デアアルト思ヒマス、供出ト云
ヘバモウ全部ヲ供出サセル、統制ト
云ヘバモウ全部ヲ統制サセル、是デ
ハドウモ味ノアル政治ガ行ハレナイノ
デ、全ク机ノ上ノ紙ノ止ノ、統制ト
云フ、ギョチナイ事務ト云ヒマス、カ、
一種ノ技術ト云ヒマス、カ、サウ云フ
モノデ總テ解決サレルヤウナ建前ニ
ナツテ居ルノデハナカ、ソコニ今
日迄ノ缺點ガアツタノデヤナカラウカ
ト思ヒマスガ、殊ニ此ノ統制ト云フ
モノノ或程度緩和シテ、自由ノ面ヲ廣
クスルト云フノニハ、斯ウ云フ今年
ノヤウナ豐年ノ時、豐作ノ年ヲ擱
デ、此ノ時ニ手ヲ打ツト云フヤウナ行
キ方ガ一番良イ方法デアラウト思ヒマ
ス、自由ニシマス、ト、今大臣カラ供出
ノ方ニ影響スルト云フ御話ガアリマシ

タガ、ソレハ供出量ト云フ物ノ抑ヘ方
デアラウト思ヒマス、私共ノ立テタ案
ハ、三分ノ一ヲ供出サセテ、アトノ三
分ノ二ヲ自由ニスルト云フ行キ方ヲ考
ヘテ、細カナ案モ出來テ居リマスガ、此
所デハ申上ゲマセヌケレドモ、サウ云
フ風ニシマスナラバ、物ノ供出ハ政府
ガ御望ミニナツテ居ル通り二百「パー
セント」ノ供出ガ出來テ、供出成績滿
點ト云フコトニナルダラウト思フ、借
テアトノ自由ニスルト云フコトハ、結
局農民ガ之ヲ自分デ喰ベテモ宜シ、或
ハドンノ賣ツテモ宜シト云フ自由處
分ヲサセルト云フコトニナルノデ、其
ノ時ニ其ノ政策宜シキヲ得レバ、相當
ノ量ガ、殊ニ米麥ニ於テ相當ノ量ガ集
荷サレルコトニ結果付ケラレルノデハ
ナイカ、是ガ若シ集荷サレルト云フコ
トニナツテ、此ノ豐年ノ年ニ相當量ガ
集荷サレルヤウニナリマシタナラバ、
是ハ經濟ノ自然ノ法則ニ從ツテ、價格
モ段々低下シテ來ルノデヤナカラウカ
ト云フヤウナコトガ考ヘラレル爲ニ、
實ハ御尋ね致シテ見タノデゴザイマス
ガ、只今ノ御説明デ、聯合軍トノ關係
モ御アリノヤウデアリマシテ、御意思
ノアル所ヲ了承致シマシタノデ、是デ
私ノ質問ヲ終ルコトニ致シマス

○男爵田島種吉 ちヨツト關聯シ
テ、今輸入食糧ノ御話ガアリマシタ
ガ、其ノ前ニ先程土屋サシノ御質問ノ
時、次官カラ御答ニナリマシタコトニ
付テ、數字のニチヨツト伺ヒタイノデ
ス、ソレハ假ニ二合五勺ヲ此ノ次ノ食
糧年度カラ増配シマス、輸入食糧ガ
三倍程要ルノダト云フ御話ガアツタヤ
ウデアリマスガ、是ハ私共ニチヨツト
直グ頭ニ入り頼メマス、御差支ヘ
ナカツタ其ノ内容ヲ御知セ願ヒタ

イ、ト云フコトハ二合五勺ニシマス
現在カラ四勺殖エマス、從テ四勺ヲ
殖ヤシマス、假ニ八千萬ノ人口ニ抑
ヘテ見テ、一年間約一千萬石内外デ
ヤナイカト思フ、サウモルト云フト昨
年ノ收穫カラ見マシテ、今年ハ私共表
面ニ現レタ數字四千萬石ヲ取ツテモ二
千萬石以上ノ増デハナイカト思ヒマ
ス、今年ハ昭和何年デシダカ七千萬石
モ獲レマシタ以來ナカツタ所ノ大豐作
ノ年ト思フ、從ツテ二合五勺ノ配給、
計リ四勺ノ増配デ、一千萬石ノ増ニナ
ルノニ對シテ、米ダケデモソレ以上ニ
獲レテ居リマス、從ツテ二合五勺ニシ
タダケ輸入食糧ヲ今年ノ三倍モ入レ
ル必要ハナイノデヤナイカ、チヨット
斯ウ思フノデスガ、私ノ計算ガ間違ッ
テ居リマスカ、其ノ御説明旁々御答ヲ
願ヒタイ

合ナリヲ信用シテ、其ノ供出ダケハ
ウシテモ責任ヲ帯ビテ出スト云フヤウ
ニシテ其ノ以前デモ以後デモ其ノ責任
担ダケハ絕對ノ出サセルト云フ責任
ヲ持タセテ、後ハ自由ニ販賣シテ賣ッ
タ方ガ宜イト考ヘマスガ、サウデナイ
ト此ノ諸ハ輸送力ヤ色々ノ關係デ非常
チ私ハ今年ハ腐敗スルト考ヘマス、若
シサウ云フコトニナレバ却テ諸ノ價格
ガ安クナツテ、サウシテ滑カニ東京都
ニ入ツテ食糧事情ハ緩和スル、斯ウ云
フヤウニ考ルノデス、却テ自由販賣ト
云フヤウニシタ方ガ安クナル、サウシ
テ都會ニ澤山入ル、斯ウ云フコトヲ私
ハ考ヘル、此ノ點ニ付テ是林大臣ノ御
意見ヲ伺ヒタイト思ヒマス

テハ御話ノ點ガナイヤウニ色々ナ具體
的ナモノヲ考ヘテ行カウト斯ウ考ヘテ
居ル次第デゴザイマシテ、今年ノ諸ハ
一面ニ於テ主として配給致シマス
同時ニ、是ハ統制ノ線ニ沿ツテ出來ル
ダケ國民ノ食糧ヲ潤フヤウナ、又農家
ノ方トシマシテモ腐ラヌヤウオトノ
ナイヤウナ手ヲ考ヘテ行キタイト思ヒ
マス、唯統制ヲ撤廢スルト云フコトハ
ドウシテモ出來ナイト云フヤウニ考ヘ
テ居リマス

サウシテ相當額ニシテヤラスト澱粉製
造ニ支障ヲ來スト考ヘテ居リマス、其
ノ點マダ決定シテ居ナイメデスカ
○國務大臣(和田博雄君) 澱粉ノ價格
ハ御承知ノヤウニ追々原料ガ上ツテ來
ルノデ考ヘナケレバナラヌガ、矢張り
一面ニ於テ主として甘藷ノ供出ト
云フコトモ考ヘナケレバナラヌカラ、
ソレ等ノ點ト綜合シテ考ヘマシテ適當
ニ準備ヲ致シテ居ル次第デアリマス
○子爵土屋平直君 只今ノニ關聯致シ
マシテ、澱粉工場ト云フノハ部落ニ於
ケル資産家ガヤツテ居リマシテ、昨年
ノ如キハ澱粉工場買ツテ原料ヲ使ヒマシ
テ作ツタ澱粉ヲ新國デ賣リマシテ、非
常ニ新國ノ獲得ヲシテ居ル狀態デア
ルノガ多イヤウニ思フノデゴザイマス、
ソレデ今年ノ澱粉ノ價格ノ問題モゴザ
イマスケレドモ、非常ニ不當利得ヲシ
テウマク金儲け置ラ逃レテ居ル者ガ多
イヤウニ思フノデゴザイマスカラ、其
ノ點モ御考慮ニ入レテ御決定ヲ願ヒタ
イヤウニ思ヒマス、農民ノ間ニ於テ相
當斯クノ如キ指導者ニ對シテ憤慨シテ
居ル者モアルノデゴザイマス、其ノ點
農林大臣ハ如何御考ヘナツテ居ラレマ
スカ伺ヒタイ

マ
○委員長(伯耆黒田清君) ソレデハ本
日ノ午前ノ會議ハ是レ閉ヂマシテ、午
後ハ一時半カラ始メマス
午前十一時五十九分休題
午後一時四十分開會
○委員長(伯耆黒田清君) 是カラ委員
會ヲ始メマス、午前二引續キ御質問ヲ
願ヒマス
○男爵西園乙君 午前中澱粉ノ御話
ガゴザイマシタケレドモ、澱粉工場ヲ
昨年ハ諸ヲ關ラセナイ爲ニ全國ニ増設
スル、二百五十デゴザイマシタカ、サ
ウ云フ計畫ガアツテナカノ進捗シテ
居ラナカツタノデアリマスガ、其ノ後
ドンナ風ニ澱粉工場ハ進捗致シマシ
カ、又蘇ノ御話ノヤウニ主として諸
ノ供出ニモ影響スルコトデスカラ、或
ハ澱粉工場ノ増設ヲ抑制シテ居ラレ
ルノカ、ソレ等ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒ
マス

○委員長(伯耆黒田清君) 速記ヲ止
メテ

○國務大臣(和田博雄君) 實ハ先般或
新聞ニ野榮ノ自由販賣其ノ他ノ問題ガ
出タ譯デアリマスガ、是ハ只今ノ處司
令部ノ關係ニ於キマシテモ、亦私共ト
致シマシテモ之ヲヤルコトハ考ヘテ居
リマセス、實ハ非常ニ是ハ不正確ナ記
事ガ出マシタ爲ニ、非常ニ此ノ司令部
ノ關係ハマツクナツタノデアリマス、
此ノ食糧ノ關係ニ付キマシテハ司令部
ノ方ニ於キマシテハ、殊ニ生鮮蔬菜ニ
付キマシテモ此ノ食糧緊急措置令ニ於
テ、統制ノ規定ヲ置イテ居リマスヤウ
ニ何處迄モ主として現在ノヤウナ實情ニ
アル限リハ是ハ何處迄モ統制ヲシテ行
クト云フ建前ヲ堅持致シテ居ルノデア
リマス、從ツテ蔬菜其ノ他ノモノニ付
キマシテ統制ヲ撤廢スルト云フコトハ
是ハ出來マセス、併シ諸ニ付キマシテ
ハ是ハ今年ハ非常ニ豐作デアリマスル
ノデ、御話ノヤウニ又腐レ易イモノデ
アリマスルノデ、是ハ統制ヲ撤廢スルト
云フコトデナクシテ、統制ノ線ニハ何
處迄モ沿ヒマスガ、出來ルダケ諸ニ付

○委員長(補見義男君) 御答ヘ致シ
マス、昨年ハ御承知ノヤウナ事情ノ下
ニ於テ澱粉ノ價格ノ決定ガ遅レタ
ノ點、非常ニ澱粉業者ガ買入シタ人ガ
アツタリ迷ツタリ致シマシタガ、今年
ハ澱粉ノ相場ニ付テハ訂正スル御考
ハアリマセヌカ

○委員長(長谷川清君) 澱粉工場ニ
付キマシテハ、昨年來食糧事情ノ段々
窮乏ニナルニ從ヒマシテ、諸君其ノ主
要食糧ノ代替トシテ配給スルト云フ意味
カラ、澱粉工場ノ増設ヲ考ヘマシテ大
體一工場當リニ六、七、八萬圓ノ補助
金ヲ與ヘマシテ、増設スルト云フコ
トヲヤツテ參リマシタ、唯本年ニナリ
マシテカラハ御承知ノヤウニ一般のニ
補助金ヲ打切ルト云フコトニナリマシ
タ關係上、新年度カラ一應補助ヲ打切
ツタ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス
○男爵西園乙君 ソレデ澱粉工場ハ今
後モドンノ作ラシテ諸ノ長ク食糧補
給ノ重要ナ材料トサレルノガ適當ト思
フノデゴザイマスガ、地方ニ依ツテハ
工場ノ増設ヲシヨウト思ツテモナカノ

○委員長(伯耆黒田清君) 速記ヲ始
メテ、大臣ハ今日午後ハ御見エニ
ナイサウデアリマスカラ、若シモ大臣ニ
御質問ガ御アリノ方ハ時間モゴザイマ
セヌケレドモ、午前中ニ御願ヒ致シマ
ス、若シモ邪ニ御質問ガナケレバ是デ
午前中ハ閉ヂタイト思ヒマス如何デゴ
ザイマセウカ、大臣ニ御質問ガ御アリ
ナラバ今ノ内ニ...

○委員長(伯耆黒田清君) 速記ヲ始
メテ、大臣ハ今日午後ハ御見エニ
ナイサウデアリマスカラ、若シモ大臣ニ
御質問ガ御アリノ方ハ時間モゴザイマ
セヌケレドモ、午前中ニ御願ヒ致シマ
ス、若シモ邪ニ御質問ガナケレバ是デ
午前中ハ閉ヂタイト思ヒマス如何デゴ
ザイマセウカ、大臣ニ御質問ガ御アリ
ナラバ今ノ内ニ...

○委員長(伯耆黒田清君) 速記ヲ始
メテ、大臣ハ今日午後ハ御見エニ
ナイサウデアリマスカラ、若シモ大臣ニ
御質問ガ御アリノ方ハ時間モゴザイマ
セヌケレドモ、午前中ニ御願ヒ致シマ
ス、若シモ邪ニ御質問ガナケレバ是デ
午前中ハ閉ヂタイト思ヒマス如何デゴ
ザイマセウカ、大臣ニ御質問ガ御アリ
ナラバ今ノ内ニ...

○委員長(伯耆黒田清君) 速記ヲ始
メテ、大臣ハ今日午後ハ御見エニ
ナイサウデアリマスカラ、若シモ大臣ニ
御質問ガ御アリノ方ハ時間モゴザイマ
セヌケレドモ、午前中ニ御願ヒ致シマ
ス、若シモ邪ニ御質問ガナケレバ是デ
午前中ハ閉ヂタイト思ヒマス如何デゴ
ザイマセウカ、大臣ニ御質問ガ御アリ
ナラバ今ノ内ニ...

○委員長(伯耆黒田清君) 速記ヲ始
メテ、大臣ハ今日午後ハ御見エニ
ナイサウデアリマスカラ、若シモ大臣ニ
御質問ガ御アリノ方ハ時間モゴザイマ
セヌケレドモ、午前中ニ御願ヒ致シマ
ス、若シモ邪ニ御質問ガナケレバ是デ
午前中ハ閉ヂタイト思ヒマス如何デゴ
ザイマセウカ、大臣ニ御質問ガ御アリ
ナラバ今ノ内ニ...

○委員長(伯耆黒田清君) 速記ヲ始
メテ、大臣ハ今日午後ハ御見エニ
ナイサウデアリマスカラ、若シモ大臣ニ
御質問ガ御アリノ方ハ時間モゴザイマ
セヌケレドモ、午前中ニ御願ヒ致シマ
ス、若シモ邪ニ御質問ガナケレバ是デ
午前中ハ閉ヂタイト思ヒマス如何デゴ
ザイマセウカ、大臣ニ御質問ガ御アリ
ナラバ今ノ内ニ...

許可ヲ得たり何カスルコトガ困難ノヤ
ウナコトモ開イテ居ルノデス、マア北
海道ナンカハ澱粉デ此ノ食糧ノ危機ヲ
乗切ツタト云フ事實モアリマスシ、主
食トシテノ生計ノ供出ノ關係モアリマ
セウケレドモ、根本ノ考ヘ方ハ長イ先
ノコトモ考ヘテ澱粉工場ヲ建テルコト
ニ御賛成ナンデゴザイマセウカ、ドウ
デゴザイマセウカ

トシテモ工場ヲ作ル意思ノアル者ヲ支
持シテヤツテ戴クコトガ必要ダト思ヒ
マス、先程農林大臣ガ御話ノヤウニ、
主食、生計シテノ供出ニ差支ヘルト云
フ點デ、或ハ餘リ積極的ニ支持シテ居
ラレナイノデヤナイカト想像シテ御伺
シテ居ル事ナンデスガ、昨年度二百五
十工場デシタカノ御計畫ハ完成シタノ
デゴザイマセウカ

フコトニナツテ供出ノ點ニ付テ餘リ難
關ヲ來シテシマフト困ルコトガアリ
マスカラ、澱粉屋ハ非常ニ難カル、併
シ甘藷ノ方ハ生計ノ方デ行ツタノデ
ハドウモ餘リ面白クナイト云フヤウナ
コトガアリマス、非常ニ是ハ困ルト
思ヒマスノデ、其ノ點ヲ一ツ考慮致シ
テ居リマス、ソレカラ澱粉工場其ノモ
ノハ私ハ是ハ將來ノ日本ノ農村工場ト
シテ、又甘藷其ノ他ノモノノ保鮮ト言
ヒマスガ、サウ云フ方カラ言ツテモ矢
張り重要ナモノダト思ツテ居リマス、
從ツテ澱粉ノ工場ヲ抑制スルカ何ト
カソナ考ヘハ毛頭ゴザイマセウ、併
シ今言ヒマシタヤウナ關係ソレ等ノ
點ヲウマク今年ハ調整シテ行キタイト
斯ウ實ハ考ヘテ居ルノデアリマシテ、
澱粉工場其ノモノガ不必要デアルトカ
何ダト云フヤウナコトヲ考ヘテ居ル
ノデアリナイノデゴザイマス、ドウカ一
ツ御了承願ヒマス

リ不當利得ヲ得ル爲ニ、農村ノ搾取階
級視サレルヤウナ弊害ガ強ケレバ、將
來ノ澱粉工場ヲ加工引受ケ、粉ナラバ
賃挽ノヤウニサウ云フヤウナ組織ニサ
セルト云ウヤウニ出來ルノデアリナイカ
ト思ヒマス、是ハ政府ガ指示シナイデ
モ農民ノ方ガ自覺スレバサウ云フコト
モ出來ルノデアル、サウ云フ指導モシ
テ主計ノ代用ニスルカ、一應加工シテ
腐ラスヤウニ、貯藏ニ堪ヘルヤウニシ
テ置イテカラ處分スルコト云フ建前ニス
ルカドチラニ重點ヲ置クカト云フコト
デ、問題ハ解決スルノデアリナイカト思
フ、ソレ等ニ付テハ今迄ノ御説明デハ
生計デ主計代用ニスルコト云フ御方針ノ
ヤウニ伺ヒマスケレドモ、運搬、貯藏
等總テ加工後ノ方ガ能率のデハナイカ
ト思ヒマスケレドモ如何ナモノデゴザ
イマセウカ

リマス
○菅澤重雄君 今ノ西サンノ質問ニ關聯
シテチヨット、私モ西サント御同感
デ、要スルニ此ノ諸君生計食ベルコト
ハ、唯季節ガ端境期デモアルシ、麥
ヲ播ク季節デ、農業ノ方モ忙ガシイ、
秋ノ稻ノ收穫ノ時ニブツツカルト云フ
ノデ、從來諸君腐ツタト云フ關係ガ、
輸送モ足ラナイコトカラアツタノデス
ガ、ソレガ今言フ西サンノ説ノヤウニ
澱粉ニシテ置ケバ何年デモ差支ナイ、
來年今年ノ物ヲ食ツテモ宜イ、一年間
ニ澤山推ヘテ置ケバ宜イト云フコトニ
モナリマスシ、先程カラ農林大臣ノ御
意見ヲ聽キマス、農家ガ一町歩位シ
カ土地ヲ買ハセラレナイデヤレバ、ド
ウシテキ多面的ニヤラナケレバナラヌ
ト云フコトヲ仰セラレテ居ルカラ、サ
ウスルト私ノ縣ナドデハ、大概農業會
ニ澱粉ノ工場ヲ許シテ居ル、農業會ガ
ヤレバ即チ農民ノ會デスカラ、ソコデ
分配モ出來レバドウニモナル、澱粉ニ
スレバ澱粉粉ハ立派ナ澱粉ニナル、澱
粉ノ粉ハ腐ラナイ、サウ云フコトヲ農林
省ハモット研究シテ、唯生計ノ主計
物ノ代用ニスルコトガ有利デアルカ、
澱粉ニシタリ若クハ其ノ粉ヲ澱粉ニシ
タリ、サウ云フモノニ利用シテヤツタ
方ガ宜イデアリナイカト云フコトハ、是
ハ餘程將來研究ヲ要スル、ソレカラ餘
モ出來マスシ、澱粉デハ砂糖モ出來
ル、葡萄酒モ出來ル、サウスルト是カ
ラ「ハワイ」或ハ「臺灣」カ砂糖ヲ買ハ
ナケレバナラヌト云フコトニナルト、正
貨ヲ輸出シナケレバナラヌ、見返リ品
ガナイナント云フコトモ、是カラ諸君
出來テ、主食ガ米麥デ足リルト云フ時
代ガ來レバ、其ノ諸君砂糖ニシタリ餘
ニシタリ段々是カラサウ云フモノニ利

○政府委員(長谷川清君) 大體相當昨
年ノ助成ニ依リマシテ出來テ居リマス
ケレドモ、矢張り地域のニハマダ完全
ニ整備サレテ居ルト云フヤウナ狀態ニ
至ツテ居リマセウカラ、地域のニハ矢
張り相當増設シテ然ルベキデハナイカ
ト斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマ
スガ、先程申シマシタヤウニ豫算の
ノ助成ガ困難ニナリマシタノデ、今ノ
處國ガ金ヲ出シテ其ノ助成ヲスルト云
フコトガ實際問題トシテ勿論出來マセ
ス、マア斯ウ云フヤウナ狀況ニナツテ
居リマス、氣持トシテハ出來ルデ今
一箇所ニ集中シテ居ルヤウナ工場ヲ分
散スルカ、又自力デ出來ルモノハ作
ツテ戴キタイ、マア斯ウ云フ風ニ考ヘ
テ居リマス

○政府委員(長谷川清君) 一應完成致
シマシタ、今私ノ申上デマシタノハ全
體的ニハ相當澱粉工場ト云フノハ出來
テ居ルト云フ風ニ考ヘテ宜イト思フ、
地域のニ其ノ配置ガ心ズシモウマク行
ツテ居ラナイ、ト申シマスノハ、我々
カラ申シマス、最近來諸君相當澤山
何處デモ作ルヤウニナリマシタノデス
カラ、其ノ關係デ澱粉工場ノ地域の配
置ト云ス面カラ見マスルト、必ズシモ
整備サレテ居ルトハ申上デ戴ネルノデ
ヤナイカト思フノデゴザイマス、ソレ
デ御話ノ點ハ、具體的ニドノ地方デド
ウ云フ工場ト云フヤウナコトニ付キマ
シテ、私ノ方ニ具體的ニ相談シテ決メテ
見タラドウカ、斯ウ云フ風ニ思ヒマス

○男爵西園乙君 御話ノ御趣旨ハヨク
分リマシタガ、諸君主計ノ代用ニス
スルカ、或ハイツソ主計シテ澱粉ニシ
テ主計ノ代用ニ當テモシ、貯藏モスル
ト云フ方ニ徹スルカ、其ノ如何ニ依ツ
テ、又御方針モ變ルノだらウト思ヒマ
ス、ア、云フ腐リ易イモノヲ處理スル
方法ト致シマシタハ、一應澱粉ナラ澱
粉ニ加工シテシマツテ置イタ方ガ宜イ
ノデアリナイカト私ハ考ヘルノデアリマ
ス、ソレトモウツハサナリマスル
ノ澱粉工場ノ經營者デケガ特ニ有利ナ
地位ニ立ツト云フコトモイケマセウケ
レドモ、此ノ爲ニハ農民ヲ保護スル建
前カラ、農民ノ共同ノ經營ノモノヲ作
ラセルト云フヤウナ御方針ヲ御執リニ
ナツタナラバ餘リ弊害ハナイノデアリ
ナイカ、殊ニ從來ノ澱粉工場經營者ガ餘

○政府委員(長谷川清君) 澱粉ニ致シ
マスレバ貯藏容易デアリマスシ、又運
搬其ノ他ノ關係カラ見マシテモ非常ニ
結構ナコトダト、斯ウ思フ譯デアリマ
ス、御承知ノヤウニ甘藷ヲ主計ニ代用
致シマスル時期ガ何時モ此ノ端境期ニ
置カレマス關係モアリマシテ、之ヲ
一々澱粉ニ致シマシテ配給致シタノデ
ハ其ノ消費者ニ間ニ合ハナイト云フコ
トヲ相當考慮ニ入レナケレバナラナイ
ト云フヤウナ事情ガアリマシテ、應々
重イ荷物ヲ運クカラ運シテ消費地ヘ持
ツテ來ルト云フヤウナコトヲヤラナケ
レバナラナイヤウナ狀況ニ相成ツテ居
リマス、併シ行クノ主計ノ方ノ端境
期ガ或程度他ノ食糧ニ依ツテ賄ヘルヤ
ウナコトニナリマスレバ、其ノ時ニハ
御説ノヤウナコトヲ十分考ヘテ宜イノ
デアリナイカ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居

○菅澤重雄君 今ノ西サンノ質問ニ關聯
シテチヨット、私モ西サント御同感
デ、要スルニ此ノ諸君生計食ベルコト
ハ、唯季節ガ端境期デモアルシ、麥
ヲ播ク季節デ、農業ノ方モ忙ガシイ、
秋ノ稻ノ收穫ノ時ニブツツカルト云フ
ノデ、從來諸君腐ツタト云フ關係ガ、
輸送モ足ラナイコトカラアツタノデス
ガ、ソレガ今言フ西サンノ説ノヤウニ
澱粉ニシテ置ケバ何年デモ差支ナイ、
來年今年ノ物ヲ食ツテモ宜イ、一年間
ニ澤山推ヘテ置ケバ宜イト云フコトニ
モナリマスシ、先程カラ農林大臣ノ御
意見ヲ聽キマス、農家ガ一町歩位シ
カ土地ヲ買ハセラレナイデヤレバ、ド
ウシテキ多面的ニヤラナケレバナラヌ
ト云フコトヲ仰セラレテ居ルカラ、サ
ウスルト私ノ縣ナドデハ、大概農業會
ニ澱粉ノ工場ヲ許シテ居ル、農業會ガ
ヤレバ即チ農民ノ會デスカラ、ソコデ
分配モ出來レバドウニモナル、澱粉ニ
スレバ澱粉粉ハ立派ナ澱粉ニナル、澱
粉ノ粉ハ腐ラナイ、サウ云フコトヲ農林
省ハモット研究シテ、唯生計ノ主計
物ノ代用ニスルコトガ有利デアルカ、
澱粉ニシタリ若クハ其ノ粉ヲ澱粉ニシ
タリ、サウ云フモノニ利用シテヤツタ
方ガ宜イデアリナイカト云フコトハ、是
ハ餘程將來研究ヲ要スル、ソレカラ餘
モ出來マスシ、澱粉デハ砂糖モ出來
ル、葡萄酒モ出來ル、サウスルト是カ
ラ「ハワイ」或ハ「臺灣」カ砂糖ヲ買ハ
ナケレバナラヌト云フコトニナルト、正
貨ヲ輸出シナケレバナラヌ、見返リ品
ガナイナント云フコトモ、是カラ諸君
出來テ、主食ガ米麥デ足リルト云フ時
代ガ來レバ、其ノ諸君砂糖ニシタリ餘
ニシタリ段々是カラサウ云フモノニ利

用スルト云フコトが必要デスカラ、研究シテ農民ヲ指導スルヤウナ意味ニ於テ、澱粉工場ヲ澤山増へテ、唯獨リ澱粉業者ニシテ利益ヲ得サセナイデ、農業會デヤレバ農民全體デアルノミカラドシ、許セバ宜イガ、ソレヲ地方廳デ指定シテ、此處ノ町村ガ宜イ、アスコガ惡イト云フコトデ、ナカ、指定ヲ許サナイヤウニ私ハ聞イテ居ル、ソレハ從來ノヤツデ居ル澱粉業者ガ縣會議員ニ出テ居ルカ、陳情シテ居ルト云フコトガ多少支障ヲ來シテ居ル原因カモ知レナイト考ヘラレマス、兎ニ角縣デハナカ、許可シナイラシイ、ドシ、私ハ、云フコトヲヤラセテ、色々ノ方面ニ新知識ヲ得テ、サウ云フ食糧問題ノ解決ノ爲ニ研究スルガ宜イト思フノデスガ、農林省ハモット積極的ニ其ノコトヲ研究シテ貰ヒタイト思フ

○政府委員(長谷川清君) 御話ハ大體私モ同感デゴザイマス、唯本年ト申シマスカ、昨年或ハ本年ノ狀況ニ於キマシテハ、今直々總テ澱粉ニシテ配給スルト云フコトハ、ナカ、ムツカシイデハナイカト云フ風ニ考ヘルノデスガ、モウ少シ食糧事情ガ好クナリマスレバ、御説ノヤウニ澱粉ニシテ或ハ主食ノ代替ト申シマスカ、食糧トシテ、或ハ砂糖代用トシテ、或ハ工業用ノ色々ノ資材ニスル、色々用途ハ廣クアリマスガ、サウ云フ方面ニ活用シテ行クコトガ必要デハナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマス、ソレカラ何カ澱粉工場ノ設置ニ付キ、マシテ地方廳デ之ヲ抑止スルヤウナ傾向ガアルヤウダト云フ御話デアリマスガ、昨年ハ先程モ申シマシタヤウニ政府ハ助成金迄出シマシテ獎勵ヲ致シタ關係モアリマシテ、サウ無

下ニ申請ヲ却下スルト云フヤウナコトハ餘リナカツタンデヤナイカ、斯ウ考ヘマス、唯具體的ニ地方ニ於キマシテハ先程來申シマスヤウニ地域ノニ非常ニ澤山澱粉工場ノアル所ト地域ノニサウデナイ所トゴザイマスノデ、或ハ非常ニ澤山アル地方ニ於キマシテハモウ是以上澱粉工場ヲ設置スルノモドウカト云フヤウナ見解カラシテ申請ヲ受付ケナカツタト云フコトモ或ハアルカトモ考ヘマスケレドモ、一般ノニハ特ニ澱粉工場ノ建設ヲ抑止シテ居ルト云フコトハ大體ナイト、斯ウ云フ風ニ私考ヘテ居リマス

○子爵土屋直君 只今ノ澱粉工場ニ關聯シマシテ伺ヒタイト思ヒマスガ、農林當局ニ於テハ昨年非常ニ御獎勵ニナツタ結果昨年ノ所謂農業會ノ會長ガ代議士其ノ他ガ多ク關係上、其ノ者ガ働イテ澱粉工場ヲ作ル場合ガ多ウゴザイマス、サウシテ今度公職追放等ニ引掛リマシタ者デ、働イタ關係上其ノ者ノ私利ヲ肥ヤスト云フヤウナ工場ニ轉落シテ居ルモノガ相當アルヤウニ見受ケルノデゴザイマスガ、澱粉工場ノ會計ヲ一遍御監督ニナル必要ガアル、サウシナイト云フト一般農民ノ爲ニナラナイ、殊ニ粕ノ點デゴザイマス、粕ヲ乾燥致シマシテ製粉機ニ掛ケテ之ヲ轉賣シテ居ル場合ガ相當ゴザイマス、之ヲ以テ相當ノ私利ヲ得テ居リマス、此ノ點御監督ニナル御氣持ハナカ、サウ致シマセスト折角國費ヲ掛ケテ御作りニナツタ澱粉工場ガ地方ノ農民ノ爲ニハナラズ、特ニ今年ノ如キハ澱粉工場行ノ供出ハ是迄ノヤウニ兵隊ノ壓力モナインダカラ出サナイト云フヤウナ考ガ起キテ居ル地方ガ相當アルヤウニ思ヒマス、折角澱粉ノ農村ノ

機械化、農村ノ副利ノ爲ノ施設ガ破壊サレル處ガアルト思ヒマス、如何ナル御考ヘデゴザイマスカ
○政府委員(長谷川清君) 澱粉ニ付キマシテハ、出來上ツタモノハ一應澱粉統制會社ニ於キマシテ、一手ニ收買致シテ之ヲ配給スルト云フ仕組ヲ取ツテ居リマス、從ツテ其ノ前ノ加工費及ビ粕等ノ副産物ノ費用、サウ云フヤウナモノモ一應澱粉工場ノ原價計算ノ中ニ織込ミマシテ政府ノ方デ之ヲ査定ノ上決定シテ居ル譯デアリマスノデ、若シ其處ニ何等カノ御話ノヤウナ點ガアルヤウデアリマスレバ、今後私達ト致シマシテ其ノ具體的ノ内容ヲ能ク調査シテ見ルコトニ致シタイ、斯ウ云フ風ニ思ヒマス

○男爵佐竹義庸君 只今澱粉ノコトデ色々御話ガアリマシタガ、私モ之ニ關聯シマシテ伺ヒ致シタイト思ヒマス、昨年度ノ諸類ノ如キ腐敗、是ハ貯藏中ノ腐敗ラシイデスガ、又ハ横流レ、是モ相當アルヤウニ聞キマシタガ、サウ云フモノノ對策ガドウ云フ風ニナツテ居リマスカ、ソレカラ今ノ澱粉統制會社ノ方ノ相當ハ相當昨年度モ多イヤウデアリマシタガ、結局其ノ二十「パーセント」位シカ賈ヘナカツタ、斯ウ云フコトモ聞イテ居リマスガ、本年度ノ各種ノ割當、澱粉或ハ粗澱粉、芋粉デゴザイマスネ、サウ云フモノノ割當ガドウ云フ風ニナツテ居リマスカ、又スル積リデゴザイマスカ、具體的ニ伺ヒ致シタイト思ヒマス
○政府委員(長谷川清君) 昨年甘藷及ビ馬鈴薯ノ輸送關係等ニ依ツテ相當腐敗、減耗ガ多クツタヤウダカラ、今年ハ之ニ對シテドウ云フ風ニ考ヘテ居ルカト云フコトニ對シマシテハ、實ハ御

承知ノヤウニ今年ハ相當特ニ甘藷ニ付キマシテハ豐作ヲ豫想セラレテ居リマスノデ、私達ト致シマシテモ最モ其ノ點ニ苦心ヲ致シテ居リマス、何ト致シマシテモ甘藷ノ割當ヲ成ルベク早く決定致シマシテ、生産者及ビ輸送業者其ノ他ノ關係者ガ計費ノニ之ヲ出荷セシムルヤウニスルコトガ、最モ必要デアアル、斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ、今サウ云フ考ノ下ニ色々具體的ニ進メテ居リマス、尙澱粉ニ對スル割當量及ビ其ノ實績デアリマスガ、甚ダ恐縮デアリマスガ、今此處ニ持ツテ居リマスノ馬鈴薯ノ澱粉ノミニ付テシカアリマセメノデ、一應ソレニ付テ申上ゲマス、二十一年產ノ馬鈴薯ノ割當ハ大體全部デ二千一百萬貫デアリマス、其ノ内澱粉ノ割當量ハ二千萬貫ノ中三百萬貫ガ其ノ割當ニ相成ツテ居リマス、配給ノ方ハ實ハ割當數量ガ餘リ多ク集ラナカツタ關係上、一應此ノ割當數字ハ本年ハ實現スルコトガ出來ナカツタ、斯ウ云フ風ナ狀況ニ相成ツテ居リマス

○男爵佐竹義庸君 澱粉トカ粗澱粉、ソレカラ「アルコール」或ハ其ノ他、サウ云フモノニ對スル割當ヲ、各種ノ芋類ノ割當ヲ、成ルベク早く業者ノ方ニ聽カセマスト仕事ガ捗ラウト思ヒマスカラ、サウ云フ風ニ御願ヒシタイ、尙「マツカサ」ノ好意ニ依ツテ相當ノ「コーンスターチ」ヲ輸入シタト聞キマスガ、既設ノ澱粉工場ヲ活用シテ、食糧ニモナリ又平和産業ノ基礎原料トモナル澱粉又ハ粗澱粉ヲ多量ニ作ラレマスカドウカ、又サウ云フコトニ御賛成デアルトシマス、今後ノ政府ノ計畫ト云フモノヲ御伺ヒシタイノデアリマス
○政府委員(長谷川清君) 大體主食ニ代

用致シマスル關係ノ數量ガ許ス範圍内ニ於テ、出來ルダケ澱粉ノ方ヘ廻スト云フコトニ致シタイ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス
○男爵佐竹義庸君 戰爭中政府ハ澱粉工場ヲ澤山作ツタヤウデアリマスガ、是モ戰爭ニ關ヘカカツタヤウデアリマスガ、既設新設ノ工場ニ十分ナル割當ヲナシテ、十分ナル生産ヲ出來ルヤウニシタイモノト思ヒマスガ、政府ノ見解ハ如何デアリマスカ
○政府委員(長谷川清君) 澱粉ト申シマスカ、甘藷ノ割當ニ付キマシテハ、實ハ數日前ヨリ各地方長官ニ御集リ願ヒマシテ、速日此ノ御相談ヲ申上ゲテ居ルヤウナ狀況デアリマシテ、本年ハ例年ニ比較シマシテ非常ニ早く割當ガ出來ルモノデアアル、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○男爵佐竹義庸君 澱粉ニ對シマシテハ、當局ノ熱意ハ大イニ認メル所デアリマスガ、唯其ノ實行ガ非常ニ遅イト思フノデアリマス、澱粉原料ノ芋類ノ割當等ハ成ルベク早く發表シマシテ、安心シテ業者ニ仕事ヲサセルヤウナ熱意ト好意ヲ持ツテ奮起シテ戴キタイト思ヒマスガ、何卒其ノ點宜シク願ヒマス
○菅澤重雄君 私ハ農林當局ニ斯ウ云フコトヲ伺ヒタイノデスガ、兎ニ角此ノ食糧危機ヲ突破スルノニハ、所謂段當收量ノ多イモノヲ作ルト云フコトヲ獎勵スベキデハナイカ、斯ウ云フ意味ニ於テ私ハ玉蜀黍ヲ主張シタ者デアリマス、玉蜀黍ヲ獎勵シテ農林省ガヤツタナラバ、此ノ食糧危機ヲ突破スルコトガ容易デアアル、斯ウ考ヘマシテ、屢々發言シタノデアリマスケレドモ、或農林大臣ヤツタ人ハ神ヲ主張シ、

或農林大臣ヲヤツタ方ハ鳩麥ヲ主張スル、斯ウ云フコトデ、私甚ダ微力ニシテ、私ノ主張スル玉蜀黍ト云フモノハ、ドノ位ノ程度ニ今内地デ作ツテ居ルカト云フ、稗ト鳩麥ト玉蜀黍トノ統計ヲ一ツ最近ノ三箇年位ノ、若シハ五箇年位ノモノノ統計ヲ、出來レバ農林省ニ一ツ出シテ戴キタイト思ツテ居リマス、ソレカラ私ノ意見トシマシテハ、一段歩當リ「カローリ」ノ多イモノハ、鷹麥ト「ジャガ」芋ト、其ノ次ニハ玉蜀黍デアルト云フコトノ確信ヲ私ハ持つテ居ルモノデ、日本ガ三千年來米食ニ依存シテ居タケレドモ、八千萬以上ノ人口ヲ養ヒ、尙今後増加スル人口ヲ此ノ國土狭小ノ日本ガ養フノニハ、ドウシテモ米ノ外ノ代用食ヲ研究シナケレバナラナイト云フ場面ニ直面シテ居ルト私ハ考ヘル、ソレデ私ノ主張スル所ノモノハ、米、麥ト、玉蜀黍ガ第三位ヲ占メテ、是ガ難テ主食物トナルト云フコトヲ私ハ確信シテ疑ハナイモノデアリマス、外國ノ例ヲ聞イテモ、今小麥ト殆ド半々位ニ玉蜀黍ヲ粉ヲ食ベテ居ルコトヲ、私ハ各方面カラ聞イテ居リマス、日本デ農林省ハソレヲドウモ無視シテ居ルヤウニ私ハ考ヘルノデ、去年信州ノ桔梗ヶ原ヘ視察ニ行キマシタラ、此處デハ農林省ガ二百六十萬圓ヲ補助ヲ出シテ、長野縣ニ囑託シテ、今試験ヲヤツテ居リマスガ、昭和十二年カラ玉蜀黍ヲ作ツテ試験シテ居ル、此處デハ一段歩當リ十二倍半獲レルト云フコトヲ言明サレテ居リマス、ソレカラ一昨年富士吉田ヘ行ツテ泊ツテ研究シマシタラ、此處モ十倍獲レルト云フコトヲ山梨縣ノ農事試験場ハ主張シテ居リマス、サウ云フヤウナモノヲドウシテ農林省ハヤラナイノカ、斯

ウ云フヤウニ私ハ考ヘマス、農林省ノ方針如何ヲ聽キタイノデスガ、併シナガラ最近ノ三年ナリ五年ナリノ統計ニ、稗ガドノ位増加シタカ、鳩麥ガドノ位増加シタカ、玉蜀黍ガドノ位デアカト云フコトノ統計ニ依ツテ、私ハ成行ヲ見テ、更ニ方針ヲ決定シタイト考ヘテ居リマス、此ノ點ヲ甚ダ御手數デスケレドモ、調査ノ御願ヒ致シマス。○國務大臣(和田博雄君) 玉蜀黍ノ問題ハ御尤モナ點ガ私モ實ハアルト思フノデアリマシテ、統計ハ最近ノモノヲ調ベマシテ御手許ニ差上ゲマス、玉蜀黍ガ長野ノ試験場デ、御話ノヤウニ農林省トシテハ力ヲ入レテ試験ヲサシテ居ル譯デアリマス、是ハ唯食糧ト云フノミナラズ、家畜トモ結ビ付キ、ソレカラ又開拓ナシカヤル點デモ直グ考ヘナケレバナラヌ作物ダト思ツテ居リマスノデ、農林省トシテハ可ナリ力ヲ今後入レルベキ、及今トシテモ勢タトモ私自身ハ相當力ヲ入レテ行キタイト思ツテ居ルノデゴザイマス、是ハ段當收量ハ御話ノヤウニ今ハ相當出來マス、ソレカラ殊ニ玉蜀黍ニ付キマシテハ六月デスカ、「アメリカ」カラモ實ハ玉蜀黍ノ種ヲ貰ヒマシテ、向フノ良イ種ヲ貰ツテ、此方デソレヲ又試験場ヘ持つテ行キマシテ試験シテ、ソレカラ良イモノヲ作ツテ行カウト云フ譯デ、種ヲ貰ヒマシタノ、玉蜀黍自身ヲ一ツ播カセヨウト云フノデ、「アメリカ」カラ少シ貰ツタノデアリマス、サウ云フヤウナ形デ漸次、是ハ是非日本ノ作物ノ中ヘ、經營ノ中ヘ取入レテ行キマセスト、唯政府ガ獎勵ダケ致シマシテモ、農家ハ自分ノ能力、販賣關係トカ、其ノ他ノ作物ノ價格關係、經濟關係デ、矢張り取附キマセヌ場合モアリマ

スノデ、サウ云フ點モ十分考ヘテ、經營ノ中ヘ入ツテ、農家ガ安ジテ又之ヲ好シデ栽培スルヤウナ方ニ是非持つテ行キタイト思ツテ居ル次第デアリマス、何レ數字ハ一ツ……○菅澤重雄君 毛ウ一ツ價格ノ點デ伺ヒタイノデスガ、私ハ玉蜀黍論者デアル爲ニ、或五六十町歩ノ開墾地ノ小作人ニ年貢ノ代リニ玉蜀黍ヲ半分ト金デ半分、七八年取ツテ居ツタノデアリマス、其ノ時分ニ私ノ地代トシテハ、一反歩五圓デアリマス、此ノ五圓ニ換算シテ此ノ玉蜀黍ヲ一俵取ツタノデアリマス、從ツテ、今ハ關取引ガ千圓以上シテ居ルノデアリマスガ、公定價格ガ何デモ十何圓カ、二十圓以內ダト思フノデアリマス、千圓モスルモノガ二十圓以內ノ價格デハ作ル人ガ供出スルコトガナイカラ、獎勵ガ一面ニ於テ、足ラナイヤウナ形ニナツテ、作り方ガ少イ、斯ウモ考ヘマス、ソレカラ毛ウ一ツ私縣ノ方ヘ行ツテ、此ノ間聽キマシタ處ガ、落花生ガ百斤十六貫匁、一貫匁ガ三升デスガ、ソレガ概ニ直スト四十八升デアリマス、ソレガ百斤ノ價格ガ幾ラト云フト、公定價格デ百五十圓、併シテ關取引ガ一升百四十圓デ、四十八倍ノ相場ノ違ヒガアル、四十八升デスカラ四十八倍、一升ト百斤ノ關ノ相場ガ同ジミタイナモノデ、コンナ價格デ供出スル者ハ一人モナイ、其ノ實情ヲ私調査シテ、ドウシテサウ云フ相揚ノ割出シガ出テ、ドウ云フモノデソレヲ何時迄モ直サナイデ置カカハ代替デ供出サレルノデアリマスケレドモ、我々地方ハ山地帶デ落花生ノ出來ル地帶ト川ノ方ノ田ガ出來ル地帶ト二ツニナツテ居リマス、田ノ方ハ米デ供出スルケ

レドモ、落花生ノ方ハ作ツテモ一粒モ供出シナイデ、而モ米ノ配給ヲ受ケテ居ル、サウ云フヤウナ一村ノ上ニ於テ二ツニナツテ驟然生ズルヤウナ狀況ヲ呈シテ居ル、ソレ等ヲ是正スルノハドウシテモ適正ナ相場ニシテ代替デ、其ノ落花生ヲ出サセルト云フヤウナ方法ヲ講ジナケレバ出來ナイノデス、今云フ百斤百五十圓デハ出ス人ガ一人モアリマセヌ、サウ云フヤウナ狀況デ全部落花生ハ關ニナツテ居ル、此ノ相場ノ割出シ方ハ、何處カラサウ云フコトヲ決定スルノカ、何處ガ經濟本部ノ價格ヲ決定スル場所デアツテ、サウ云フコトヲ決定スルノカ、或ハ業者ヲ集メテ聽クノカ、地方長官カ何カニ、其ノ地方ノ特產物ノ價格ヲ聽イテ、生産費トカ、何トカ色々ノモノト比較シタモノニ依ツテ、適正ナル相場ヲ決定スルコトガ然ルベキデハナイカト思フガ、ドウ云フ意味デ、玉蜀黍トカ、落花生ハサウ安クナツタノカ、之ヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス。○國務大臣(和田博雄君) 是ハ價格ヲ決メルノニハ、從來ハ農產物ハ農林省ガヤツテ居リマシタ、農林省ガヤリマスノニ付キマシテハ、先ツ最初ニ考ヘマスノハ、各物ノ生産費ヲ矢張り考ヘマシテ、ソレカラ反當リノ收入、經營ノ面カラハソレハ、ノ物ニ付テノ收益關係等十分考ヘマシテ、米價ト云フモノヲ一應ノ中心ニ置キマシテ、農產物ノ價格、ソレハ、ノ間ノ均衡ヲ取ルヤウナ建前デ、少クトモ、價格ノ公定ハ致シテ來テ居ツタノデアリマス、其ノ方針ハ變ツテ居ナカッタト思フノデアリマス、唯色々ノ農產物ニ付キマシテ、非常ニ收量ガ減ツタリ、ソレカラ特殊ノ事情ガアリマシテ、必ズシモ

「プリシブル」ガ一貫シテナイ面ハ、是ハアツタト思ヒマス、從ツテ多少ノ凸凹ガアリ、又需給ガ非常ニ緊迫シテ居ツテ、食糧全體ノ何ガ窮乏デアリマシタ爲ニ、公定價格面デハ生産費ヲ嚴密ニ調査シテ、均衡ガ取レテ居ツテモ、農家ノ側カラ云ハバソレヲ供出シナイデ關ニ流シタト云フサウ云フ面モアツタト思フノデアリマス、價格ノ點ニ於テハ、一應ノ均衡ヲ取ルト云フ建前デ、是ハ農林省ノ方ハ、元ハ價格ノ方ヲヤツテ居リマシタ、調整課デスカ、價格關係ノ方ヲヤツテ居ツタ方デ決メテ居ツタ譯デアリマス、今後ハ是ハ物價廳デ決メルコトニナルト思フノデアリマス、價格ヲ決メマス時ニハ、是ハ矢張り、其ノ途ノ專門ノ人ダトカ、或ハ業者ナラ能クモノノ分ツタ業者、サウ云フ有ラユル方面ノ意見ヲ聽キマシテ、ソレカラ色々ノ「データー」ヲ集メマシテ、農林省ト致シマシテハ、慎重ニ價格ヲ決定致シテ居ルノデアリマシテ、時ニ依レバ實際ニ調査ニ出テ行ツテ、調ベテヤツテ居ルト云フ實情デアリマス、併シ御話ノヤウニト物ニ依ツテハ非常ニ不均衡ナモノガアルノデアリマス、是ハ大豆ナシカハ低イ所ニアル品デハナイカト思ヒマス、サウ云フ點ハ、ソレ等ノモノノ増產トカ、色々ナ必歟ヲ考ヘマシテ、是ハ是非適當ニ今後は正シテ行キタイト思ツテ居リマス。○菅澤重雄君 サウスルト玉蜀黍或ハ落花生ニ付テハ相場ヲ訂正スルマダサウ云フ確信モナイノデスカ。○國務大臣(和田博雄君) 是ハ餘程色々ナ面カラ調ベテ見マシテ、矢張り適當ナ均衡ヲ、米價モ變リマシタノデ、適當ナ均衡ヲ取ツテ行カウトスウ

考ヘテ居リマス

○中村農務局長 此ノ緊急勅令ノ當面
差當タ問題ヲ承リタイト思ヒマス、
ソレハ詰リ供出ノ未了ナリ、之ニ對
スル措置ハドウ云フ事ニオヤリニナル
ノカ、先日又何カノ統計カ知レマセヌ
ガ、二割四分ハ供出シナイモノガ
ルト云フ事ナコトヲ承リタイト思ヒ
マス、ソレニ對シテドウ云フ措
置ヲ御執リニナルカ、若シ其ノ供出ガ
完了スレバ、或ハ今日受ケテ居ル處ノ
運配ト云ヒマスカ、ソレハモウナクナ
ルノデハナカラウカドウカ、若シサウ
云フ供出ガナカタナラ二十日間運
テ居ル穴埋メノ方法ヲ外ノ方法デシテ
戴ケルカト云フコトヲ一ツ承リタイト
思ヒマス

○農務大臣(和田博雄) 供出未了

ノ分ハ、是ハ我々ノ方トシテハマダ出
來ルデケ之ヲ出シテ賣ヒタイト思ッ
居ル譯デアリマスガ、實際ハ新米ノ
何ガアリマスレバ、或ハムツカシイ點
モアルカト思ヒマスガ、是ハ出來ルデ
ケ出セルモノハ一ツ出シテ戴キタイト
思ッテ居リマス、ソレカラ運配、缺配
ハ、是ハ現在ノ狀況デハ御承知ノ通り
直グ穴埋メ出來ルト云フ實情デアリマ
ス、併シ來年度ニナリマシテ米ノ
方、其ノ他諸國等ガ相當出來テ居リ
マスノデ、増配モ致シ、色々工夫ヲ致
シタ結果、相當ノネトリガ出來テ來マ
スレバ、何カ考ヘタイト思ヒマスガ、
今ノヤウナ現狀デハ直グ穴埋メスルト
云フコトハ出來ニイ状態デアアルコト
ヲ申上ゲテ置キマス

レハ或ハ農林省ノ方デハ御承知カト思
ヒマスガ、秋田縣ニ渡邊米ト云フ農
家ガ居リ、非常ニ肥料ノコトヲ研究シ
テ居ル、前年苦心ノ結果斯ウ云フモノ
ヲ發明シタ、多分隣母ト申シマスカ、
昨年度ニ付テ見ルト、一段歩米十五俵
ノ收穫ヲ得タ、若シ是ガ成功スレバ一
段歩三十俵俵ゲルコトハ易々タルモノ
デアアル、昨年度十五俵俵ゲル外、大根、
牛蒡ノヤウナモノハ太クテ、長クテ拔
タコトガ出來ナイ程成長シタ、之ヲ用
ヒレバ關西方面へ行ケバ米ガ二度取
ルカモ知レナイ、斯ウ云フ耳ヨリノ話
ヲ承ツタノデアリマス、私ノ友人デス
カラ是非來テ吳レト申シマス、ソレハ
實態三ツ言ツテ元代議士ヲシタ方デ
アリマス、齋藤君ノ父サシハ長ク代
議士ヲシテ居ツタ齋藤字一郎ト云フ有
名ナ農村關係ノコトヲ研究シテ居ツタ
方デアリマスガ、其ノ息子ノ齋藤君ノ
話ナラデス、ソレニ付テ何カ農林省ノ
方デモ御聽キ込ミノコトデモアルカ、
或ハ御研究ニナツタコトガアルカ、若
シ此ノ話ガ本當トスレバ非常ニ御心配
ニナル點モ覺察ヲ、今ニ「ブラジル」
ノ「コーヒー」ノヤウニ米ヲ海ノ中ニ捨
テナケレバナラヌ時代ガ來ルンデナイ
カト思フノデス、是ハ強チ架空ナ話デ
ハナイノデアリマス、實ハ先日郷里ヘ
歸リマシテ、此ノ話ヲ都ノ農業者ヘ持
込シタ處、農業者ガ過キタラ是非ヤツ
テ見タイ斯ウ云フコトヲ申シテ居
ノデアリマスガ、果シテ御聽キ込ミガ
アルカドウカ、餘リウマ過ギル話デア
リマスレドモ、山崎先生ガイデ
ニナリマスガ、何カ之ニ似寄ツタ話ガ
愛知縣ニモアルト云フヤウナコトヲ申
サレテ居ルノデスガ、本省ノ方デハ御
聽キ込ミノコトハアリマセヌデスカ

○農務大臣(和田博雄) 酢素ノ問題

ハ、是ハ色々ナ方面カラ私モ耳ニ致シ
テ居リマスルシ、又サウ云フ話モ伺ッ
タコトモアリマスルガ、農林省トシマ
シテハサウ云フ方ハノ持ツテ居リマス
ル酢素ナリ、何ナリヲ戴キマシテ、ソ
レヲ十分研究致シタ上デ、若シ良イモ
ノデアリマスナラバ、實際上普及シテ
行キタイ、斯ウ云フ態度ヲ執ツテ居リ
マシテ、農林省、政府ノ立場トシテハ
ドウシテモサウ云フヤウニ實ハセザル
ヲ得ナイノデアリマス、例ヘバ戰爭中
ヤカマシクアリマシタ馬鈴薯ノ一芽植
ナンカノ點ニシマシテモ、一芽植ト云
フコトハ原料ヲ少クシテ済マス、種ヲ
少クシテ済マスト云フ點カラ言ヘバ宜
イニ決ツテ居ルノデアリマスガ、併シ
一芽植デ實際上ノ成績ヲ觀デマスル爲
ニハ、ソレニ對スル相當ノ經驗ガ要リ
マスルシ、經驗ガ要ル、誰ガヤツテモソ
レハ效果ガ事ト云フモノデアリマス
レバ、農林省トシテハ是ハ直グ宣傳ヲ
致スノデアリマスガ、唯相當ノ技術ヲ
要シマスル場合ニハ、ソレデケノ條件
ヲ付ケテ、斯ウ云フ人ガヤレバ是ハ宜
イダラウト云フ點ニヤリマセヌト、直
グヤツテ宜イト云フノデ、ソレヲ皆ヤ
ツテ農作物ノ生産ガ悪ナルト云フコ
トニナルト、是ハ國ノ非常ナ損失デモ
アリマス、又政府ノ信用モ落チルト云
フコトニナリマスカラ、ナカノ「農業」
事柄ハ、色々ノ土地柄、其ノ他ノ條件
デ色々違ツテ、ソレノ特殊ノ技能ヲ
要スルモノガ相當多イ譯デゴザイマス
ルノデ、サウ云ツタモノニ付テハ、是
ハ一部ノ者カラ見マスト非常ニ消極的
ダト云フ非難ハ或ハ蒙ルカモ知レマ
スレドモ、マア慎重ナ態度ヲ執ッ
テ居ル譯デアリマス、酢素ノ問題モ、

○中村農務局長 其ノコトデ本年秋田

縣デ以テ二千ノ青年ヲ呼ビ集メテ七月
頃カラソレノ訓練ヲスル、勿論發明シ
タ、或ハ發明シタト云フカ、其ノ人
ハ、是ハ私スベキモノデハナイ、若シ
的確ニソレガ行ケラバ、全國ノニ無
償デ御話ショウト斯ウ云フコトヲ申シ
テ居ルサウデアリマスガ、私モ唯耳ニ
シタデケデアリマスカラ、ソレハ一ツ
御研究ニナツタラ如何カト思フノデア
リマス

○子爵土屋直道君 チョット農林大臣

ニ伺ヒタイノデゴザイマスガ、今度農
村ノ方ヲ四合配給ニ致シマシテ、都會
ノ方ハ二合五斗ト云フ風ニ致シマス
ト、大體米ノ部分ハ農村ノ方ニ多ク必
然殘リヤウニナルダラウト思ッテ居リ
マス、從ツテ依然トシテ米ノ賣出シト
云フコトハ衰ヘナイ問題ダト思ヒマ
ス、特ニ馬鈴薯、甘藷等ハ非常ニ殘ル
ダラウト思ヒマス、賣出シト云フヨリ
モ寧ロ現在ニ於テハ既ニ賣出シ部隊ト
云フモノガ列車ノ三分ノ二以上ヲ占メ

テ居ルヤウニ思ハレルノデアリマス、

サウ致シマス、先程ノ全面的供出ヲ
聯合軍ニ於テ主張セラレルノナラバ已
ムヲ得ナイノデゴザイマスレドモ、
此ノ狀態ヲ農林省ニ於テ御説明ニナッ
テ何トカ、現在ニ於テ關ノ價格ト、關
シナイデ居ル農家トノ收入ガ斷然違
ノデアリマシテ、本年ノヤウニ非常ニ
豐作ノ場合、現ニ麥、馬鈴薯ガ農家ニ
轉ガツテ居ルト云フ狀態デゴザイマス
ノデ、此ノ儘ニシテ置キマス、善良
ナ農家ノ救済策トシテ頗ル策ヲ得ナイ
モノノヤウニ思ヒマスガ、是ハ本年ノ
ヤウナ餘リ物ノ多イ、殊ニ賣出シ部隊
ノ多クナツテ來タ現狀ヲ御説明ニナ
シ、本年ノ御對策トシテ聯合軍ニ對シ
全面的供出ト云フデハナクシテ、事
業ヲ御説明ニナツテ、一部分ハ供出カ
ラ除外スルカ、或ハ餘リ物ヲドウ云
フヤウニ處分爲サル御考デアアルカト云
フコトヲ伺ヒタイノデゴザイマス、社
會黨ノ方デ反對シテ居リマスル理由
ハ、自由販賣ニナルト資本家ノ賣出ヲ
受ケルカラダト云ツテ居リマスガ、舊
來ノ資本家デハナクシテ、現在農村ニ
於テハ新圓以外デハ取引ヲ致シマセヌ
ノデ、新圓ヲ持ツテ居ル人ガ詰リ買占
ヲスル處ガアルカト存ジマスレド
モ、ソレニシテモ餘リ物ノ處分ニ付テ
相當ノ御對策ガナイト云フト、善良ナ
農家ガ非常ニ救済サレナイコトニナル
カラ、何カ御考ヘゴザイマセヌデスカ

○農務大臣(和田博雄) 農家ノ保

有最ハ、ソレヲ米デヤルカ、麥デヤル
カ、或ハ甘藷デ何スルト云フ、其ノ割
合ハ各縣、各村ノ實績ニ從ツテ決メテ
行ク方法ヲ探ツテ居リマス、從ヒマシ
テ農家ノ方デケニ多クノ米ナリ、何ナ
リガ殘ツテシマフ、斯ウ必ズシモ結果

的ニハ言ヘヌノデヤナイカト思ヒマシ
テ、其ノ地方々々ノ消費實績ヲ決メマ
シテ、其ノ實績ニ依ツテソレヲ決メテ
行ク、斯ウ思フテ居リマス、ソレカラ
都會ノ方ノ一般消費者ノ割當配給増
加、是其ノ外ニモ今朝次官ガ御説明
致シマシヤウニ、勞務加配ノ増加ト
云フコトモ考ヘテ居リマス、ソレ
等ノモノヲ平均致シマス、マ
可ナリノ數置ニナルコトニナツテ居
マス、ソレカラモウ一ツ餘剩米ノ自由
販賣ト云フコトデアリマス、是ハ
今朝松本委員カラ御意見ガアツタ
デアリマスガ、我々ノ方ト致シマシ
テ、其ノ時私ガ御答ヘ致シマシヤ
ウニ、實際ノ供出其ノモノヲ圓滑ニヤ
ル由販賣ト云フコトヲドウシテモ認
譯ニ行カス、併シ此ノ餘剩米ヲ、供
致シマシマツタ後ノ米ガドノ位アル
分リマセムガ、ソレニ付テハ是ハ矢
張り正規ノ「ルート」ニ乗セルヤウ
ナ何等
カ一ツ工夫ヲ致シタイ、ト申シマ
スハ、今朝實業ノ中ニアリマシヤ
ウニ、是ハ自由販賣ニ致シマス、結
局新團ヲ持ツテ居ル「ブローカー」
デアルトカ、商賣者デアルトカ云フ
者ガ、其ノ間ニ入ツテ購集スルコト
云フコトニ
ナル譯デアリマス、サウスルト、都
會
ニソレ等ノ者ガ持ツテ來テ賣レバ、
安
イ値段デアリナイト云フヤウナコ
ト
ナリマシテ、却テ融通過程ヲ攪亂
致
ス
コトニナルノデヤナイカト考ヘラ
レ
ル
ノ
デ
ア
リ
マ
ス、ト申シマス、ハ、逆
ニ
ト云ヒマス、正規ノ供出ノ「ルート」
ガズツトマク行ケバ、後ノ協定ト云
フ
モノガ比較的少クテ済ムノデアリ
マ
ス
ケレドモ、何處迄モソレガ完全ニ
行
ク
ト云フコトデアリマセスト、其處ガ

崩レテシマツタノデハ、是ハ總量ガ多
クナルノデカラ宜イデヤナイカト云
フ
御議論ヲ拜聴致シタノデアリマスガ、
總
量
ガ
多
イ
カ
ラ
宜
イ
デ
ヤ
ナ
イ
カ
ト
云
フ
ノ
デ
ハ、生産者ガ多イカニ宜イデヤ
ナ
イ
カ
ト
云
フ
コ
ト
ト
同
ジ
議
論
ニ
ナ
ツ
テ、
サ
ウ
云
フ
コ
ト
ハ
責
任
ア
ル
モ
ノ
ト
シ
テ
ハ、
ド
ウ
シ
テ
モ
採
リ
ニ
キ
イ
コ
ト
デ
ア
リ
マ
ス、
唯
併
シ
御
話
ノ
ヤ
ウ
ニ
農
家
ニ
於
テ
付
テ
ハ、
ド
ウ
シ
テ
モ
ソ
レ
ヲ
賣
ル
ト
云
フ
コ
ト
ヲ
ヤ
レ
バ、
正
規
ノ「ルート」ニ乗
セ
ル
ヤ
ウ
ニ
價
格
ノ
面
デ
ア
ル
ト
カ、
色
々
ナ
面
デ、
特
別
ノ
措
置
ヲ
講
ジ
テ
行
キ
タ
イ、
斯
ウ
云
フ
ヤ
ウ
ニ
考ヘテ居リマス
○子爵土屋直君 只今ノ御説明デ大
體分リマシタガ、現在農家ニ於テ春
麥、馬鈴薯ノ割當ガ比較的低意ニ即
シ
タ
ト
申
シ
マ
ス、
樂
デ
ゴ
ザ
イ
マ
シ
テ、
大
分
殘
ツ
テ
居
ル
ノ
デ
ゴ
ザ
イ
マ
ス、
ソ
レ
ヲ
再
供
出
ナ
ル
御
積
リ
デ
ゴ
ザ
イ
マ
ス
カ、
或
ハ
ソ
レ
ヲ
シ
ナ
イ
ト
仰
セ
ニ
ナ
リ
マ
ス
ノ
デ
ス、
又
此
ノ
甘
藷
ニ
於
テ、
同
ジ
ヤ
ウ
ニ
諸
ガ
殘
ル
ノ
デ
ゴ
ザ
イ
マ
ス、
主
食
ノ
農
家
保
有
米
ト
シ
マ
シ
テ
ハ、
米
ノ
量
ヲ
非
常
ニ
減
ラ
サ
ナ
ケ
レ
バ
ナ
ラ
ナ
イ、
モ
ウ
米
ガ
ナ
ク
テ
モ
食
ヘ
ル
デ、
ケ
レ
ノ
物
ニ
ナ
ツ
テ
居
ル
ヤ
ウ
ニ
思
フ
ノ
デ
ゴ
ザ
イ
マ
ス、
ド
モ、
併
シ
サ
ウ
致
シ
マ
セ
スト、
米
ノ
供
出
ト
云
フ
コ
ト
ハ、
矢
張
リ
諸
ト
違
ヒ
マ
シ
テ、
米
ヲ
殘
シ
タ
ノ
デ
ハ、
納
得
ノ
行
ク
供
出
ト
云
フ
コ
ト
ニ
ナ
ラ
ナ
イ
ノ
デ
ス、
ケ
レ
ド
モ、
其
ノ
點
何
デ
ゴ
ザ
イ
マ
ス、
○國務大臣(和田博雄) 是ハ斯ウ云
フヤウニ私共考ヘテ居ルノデス、實
ハ
統
制
ト
云
フ
此
ノ
大
キ
ナ
線
ハ、
是
ハ
撤
廢
ハ
出
來
ナ
イ
ノ
デ
ス、
此
ノ
線
ニ
關
シ
テ
甘
藷
ナ
リ
馬
鈴
薯
ニ
付
テ、
可
ナ
リ
裕
リ
ト
云
ヒ
マ
ス、
統
制
ノ
線
ニ
沿
ツ
タ
一
ツ
ノ

裕リト云フモノヲ認メテ行ツタラドウ
カ、斯ウ思フテ居ルノデアリマシテ、何
分斯ウ云フ「サイコロジ」ガ働クコト
ヲ私ハ惧レテ居ルノデス、今我々ノ例
ヘバ自由販賣ナラ自由販賣ニスル意
思
ガ
毛
頭
ナ
イ
ニ
モ
拘
ラ
ズ、
ソ
ン
ナ
コ
ト
ガ
出
マ
ス、
是
ハ
將
來
自
由
ニ
ナ
ル
ダ
ラ
ウ
ト
思
フ
テ、
ソ
レ
ナ
ラ
バ
供
出
ニ
付
テ
ハ、
出
來
ル
デ、
ケ
レ
少
イ
方
ガ
宜
イ、
是
ハ
農
家
ト
シ
テ
斯
ウ
云
フ「サイコロジ」ニ囚ハレ
ト
思
フ
ノ
デ、
サ
ウ
ス
ル
ト
折
角
供
出
シ
テ
行
カ
ウ
ト
云
フ
時
ニ
崩
レ
テ
行
ク
ノ
デ
ハ、
誰
ガ
困
ル
ノ
カ
ト
云
フ、
國
民
ガ
困
ル、
政
府
ト
シ
テ
ハ、
實
際
ニ
ハ、
非
常
ニ
マ
ジ
イ
コ
ト
ニ
ナ
リ
マ
ス、
蛇
蜂
取
ラ
ズ
ニ
ナ
ツ
テ
シ
マ
フ
コ
ト
ガ
アル
ノ
デアリマシテ、
是
ハ
何
ト
シ
テ
モ
矢
張
リ、
一
般
ノ
國
民
ニ
配
給
ス
ル
ト
云
フ
此
ノ
分
量
ガ
最
モ
大
キ
イ
主
流
ノ
デアリマス、
是
ハ、
取
り
易
イ
ヤ
ウ
ニ
供
出
シ
テ
賣
ツ
テ
供
出
シ
テ、
後
ノ
モノ
ハ、
別
ノ
問
題
ト
シ
テ、
是
ハ、
考ヘテ行ク、
斯
ウ
云
フ
風
氣
持
デ
居
ル
譯
デアリ
マ
ス、
我
々
ト
シ
テ
モ、
今
度
ノ
甘
藷
ハ、
非
腐
ラ
ゼ、
サ
イ
ヤ
ウ、
ソ
レ
カラ
統
制
ノ
線
ヲ
外
レ、
何
ト
カ
ヤ
ツ
テ
行
ク、
ソ
レ
カラ
運
配
缺
陥
ノ
問
題
ガ
出
マ
シ
タ、
是
ハ、
將
來
甘
藷
ヲ
補
フ
ト
云
フ
ヤ
ウ
ナ
コ
ト
ハ、
非
ヤ
ツ
テ
行
キ
タ
イ
ト
思
フ
テ
居
リ
マ
ス、
ソ
レ
カラ
ソ
レ
ニ
ハ、
統
制
ヲ
撤
廢
ス
レ、
ソ
レ
ハ、
出
來
ル
カ
ト
云
ヘ、
必
ズ
シ
モ
サ
ウ
デ
ハ、
ナ
イ、
サ
ウ
ス
レ、
バ、
亂
雜
ニ
ナ
ル
ノ
デア
リ
マ
ス、
統
制
ノ
大
キ
ナ
線
ヲ
引
イ
テ、
ソ
レ
ニ
即
シ
ナ
ガ
ラ、
ヤ
ツ
テ
行
ク、
斯
ウ
云
フ
考
デ、
實
ハ、
進
ン
デ
居
ル
譯
デア
リ
マ
シ
テ、
御
話
ノ
ヤ
ウ
ニ、
今
後
各
種
ノ
問
題
ニ
付
テ、
其
ノ
點
ハ、
非
常
ニ
重
要
ノ
問
題
デア
ル
ノ
デア
リ
マ
シ
テ、
是
ハ、
非
早
イ
割
當
ノ
甘
藷
ハ、
早
ク
取
り、
今
年
ハ、
甘
藷
ガ
豐
富
デア
リ
マ
ス、
ノ
デ、
甘
藷
ハ、
出
來
ル
デ、
ケ
レ、
有

效ニ使ヒタイト考ヘテ居リマス
○警憲雄雄君 私人米價ノ問題デ伺ヒ
タイノデスガ、去年ハ確カ地主米ト云
フモノハ一石五十五圓カデアツタト
思
ヒ
マ
ス、
今
度
ハ、
七
十
五
圓
ニ
ナ
ル
ノ
デ
ス、
サ
ウ
ス
ル
ト、
二
十
圓
バ
カ
リ
上
ツ
タ
ヤ
ウ
ニ
ナ
リ
マ
ス、
政
府
ノ
考
デ、
ハ、
米
ト
云
フ
モノ、
ハ、
適
正
價
格
ハ、
幾
ラ
デ、
アル
カ、
地
主
ノ
米、
デ、
アル
カ、
五
十
五
圓
デ、
宜
イ
ト
カ、
七
十
五
圓
デ、
宜
イ
ト
カ、
云
フ
モ、
ノ
デ、
アル
ト、
ス、
ル、
ナ、
ラ、
バ、
地
主、
カラ、
買、
上、
ゲ、
タ、
米、
ヲ、
政、
府、
ガ、
賣、
ル、
場、
合、
ニ、
於、
テ、
モ、
五、
十、
五、
圓、
デ、
買、
上、
ゲ、
タ、
カ、
ラ、
五、
十、
五、
圓、
デ、
賣、
ル、
ト、
云、
フ、
コ、
ト、
ハ、
正、
シ、
イ、
建、
前、
デ、
ハ、
チ、
イ、
カ、
然、
ル、
ニ、
五、
十、
五、
圓、
デ、
買、
上、
ゲ、
タ、
場、
合、
ニ、
政、
府、
ハ、
二、
百、
圓、
デ、
賣、
ツ、
テ、
居、
ル、
サ、
ウ、
ス、
ル、
ト、
二、
百、
十、
圓、
ト、
云、
フ、
モ、
ハ、
政、
府、
ハ、
地、
主、
ノ、
米、
ニ、
於、
テ、
利、
益、
ヲ、
得、
テ、
居、
ル、
サ、
ウ、
ス、
ル、
ト、
云、
フ、
モ、
ハ、
地、
主、
ノ、
私、
利、
益、
ハ、
何、
處、
カ、
ラ、
出、
ル、
ノ、
デ、
ス、
カ、
是、
ハ、
私、
ド、
ウ、
モ、
疑、
問、
ニ、
堪、
ヘ、
ナ、
イ、
地、
主、
ノ、
米、
ダ、
カラ、
安、
ク、
テ、
宜、
シ、
イ、
生、
産、
者、
カ、
ラ、
出、
タ、
米、
ヲ、
三、
百、
圓、
ト、
ス、
ル、
ナ、
ラ、
バ、
獎、
勵、
金、
ト、
シ、
テ、
ヤ、
レ、
バ、
宜、
ガ、
獎、
勵、
金、
ト、
シ、
テ、
耕、
作者、
ニ、
ヤ、
ル、
位、
ハ、
當、
然、
デア、
ル、
生、
産、
費、
ガ、
アル、
カ、
ラ、
當、
然、
ナ、
話、
デ、
ス、
ガ、
政、
府、
ガ、
賣、
ル、
場、
合、
ニ、
於、
テ、
五、
十、
五、
圓、
デ、
買、
上、
ゲ、
タ、
モ、
ノ、
三、
百、
圓、
デ、
賣、
ル、
ト、
云、
フ、
コ、
ト、
ハ、
不、
合、
理、
デ、
ハ、
ナ、
イ、
カ、
ト、
考、
ヘ、
ラ、
レ、
マ、
ス、
ガ、
其、
ノ、
點、
ハ、
何、
デ、
ス、
カ、
○國務大臣(和田博雄) 是ハ七十五
圓ノ關係ト云フモノハ、小作料ガ七十
五圓、物納ノ小作料ヲ金納ニスル場合
ニハ七十五圓ト云フコトニナル譯デア
リマシテ、地主ノ保有米ノ中カラ供出
ヲ割イテ五十五圓デ……二十年産米
ヲ五十五圓デ買ツタヤツハ確カ五十五
圓デ地主ニハ拂下ゲテ居ルト私ハ記憶
シテ居リマス

○警憲雄雄君 モウ一ツ違フ問題ヲ御
聴キシタイノデスガ、金納ニスル理由
ハドウモ私共ニハ分ラナイガ、金納ニ
シタ場合ニ時代ノ趨勢ニ依ツテ物價ハ
上ルノデスカ、ソレヲ其ノ時代ノ他
ノ物價ト比較シタ相場ニ依ツテ金納ニ
スベキモノヲ、從來ノ米相場ヲ何處迄
モ押ヘテ地料ニスルト云フコトハ、地
主ノ生活モ今日ノ物價ニ依ツテ生活ス
ルノデカラ、總テノ物價ガ上レバ地主
ト雖モ生活ガ苦シイ、地主大ケク困ラ
シテ政府ハ公平ナリト考ヘテ居ルト云
フコトハ、少シク片手落ノ處置デ、差
別待遇ヲスルヤウニ考ヘラレル、地主
モ等シク日本國民デアアルカラ、小作人
ト地主トサウ相違ナル筈ノモノデハ
ナイ、金納ニスルト云フコトニナレ
バ……ドウシテモ物納デアツタカラ土地
ヲ付ケテ置イタシタガ、金納ニナレバ
自作ヲシナケレバ、今度ハ七十五圓デ
ハ關ノ一升ノ米モ買ヘナイト云フコト
ニナルデスカ、ドウシテモソコデ
土地ヲ上ゲテ、作ラナケレバナラナイ
ト云フコトデ、小作人ト農家ガ起ルノ
ハ是ハ當然ノ話デアリマス、私ハ伊那
邊リニ參リマシテ、信州ノ伊那邊リノ
狀況ヲ聞クト、其ノ問題ガ非常ニ難
シテ、小作人ト地主ノ間ニ紛糾ガ生ジ
テ居ル、ソコデ新聞ヤ何カデ地主ノ保
有米、保有米ト云フコトヲ聞キマス、
レドモ、私ノ縣ナドニハ地主ハ保有米
ナド一粒モアリマセム、保有米ト稱ス
ルノハドウ云フコトヲ保有米ト云フカ
知ラヌガ、地主ガ氣ノ毒デト云フコト
デ米ヲ二斗位ツツ一人ノ人デアルト云
ツタヤウナ土地モアリマスケレドモ、
私ノ縣ナドデハ全部小作米ヲ農業倉庫
ニ出シテ自分ノ配給ヲ受クベキ何合ナ
ラ何合ト云フ割合デ老若男女ヲ通ジテ

下サルト云フコトデ、ヤルノダカラ保
有米ト云フモノハ少シモナイ、ソレヲ
地主ノ保有米ヲ供出スレバ宜シトカ
何トカ、新聞ニ澤山共産黨ヤ何カガサ
ウ云フコトヲ主張シタリ、書イテアリ
マスガ、私ノ縣ナドニハサウ云フ保有
米ハナイ、唯割當ノ一合何ナラ一合
何ナリニ二合何ナラ二合何ナラ一老若
男女ノ區別ガアル、ソノ二合何ナリノ配
給ヲ受ケテ居ルノデ其ノ保有米ニヤウ
ナ餘計ナモノハチツトモアリマセヌ、
斯ウ云フヤウナ譯デ、農林省ハ新聞ヲ
信用シテ居ルンデセウカ、居ナイノデ
スカ、ドウモ共産黨ヤ何カノ文句バカ
リヲ聞イテ、ソレヲ信用シテ、政府ハ
ソレニ依ツテ動イテ居ルヤウニ、共産
黨ノマルデ手先ニナツテ、地主ヲ苦シ
メテ殺サウトシテ居ルヤウニ見エル、
一面カラ見レバ其ノ田畑ノ賣買ト雖モ
實際賣買ヨリハドレ程安イカ知レナ
イ、四分ノ一位若シハ五分ノ一、斯ウ
云フ安イ相場デヤル、地主ダツテ何處
カラ其ノ土地ヲ盗ンデ來タノデモナ
ケレバ取ツタノデモナイ、祖先ノ昔汗
ノ結晶ニ依ツテ出來タモノデアル、ソ
レヲ惡地主ダノ搾取ダノト云フ名稱ヲ
地主ニ冠シテ、誰モ一言モ地主ヲ良ク
言フ者ガナイ、私ハ明治三十九年カラ
開墾地ヲ起シテヤツテ居リマスケレド
モ、未ダニ五圓ノ所デ申稱所得稅ヲ拂
フト一反歩ノ地料ガ三圓シカ殘リマセ
ヌ、三圓ノモノヲ三反歩併セテモ閣下
薩摩諸一皿ガ買ヘナイ、ソレヲ惡地主
トカ何トカ云フヤウナ名前デ一般ノ社
會ガ認メルト云フコトハ私ハ不満ニ堪
ヘナイ、之ヲ公開ノ席上ニ於テドウシ
テモ一應其ノ因ヲ解カナケレバナリマ
セヌ、而シテ今度政府ハ我々ノ地所ヲ
作ツテ居ル小作人ニ一町歩シカ賣フコ

トガ出來ナイトスルナラバ、三町歩作
ツテ居ル者ハアトノ二町歩ヲ政府ガ買
ツテ、其ノ地料ヲ私ガ五圓デ付ケテ置
イタト同ジヤウニ、三十年モ五十年モ
同ジ五圓デヤツテ居ツタヤウニ付ケテ
置イテ、其ノ相場ヲ上ゲルカ上ゲナイ
カ、斯ウ云フコトモ聞キタイ、是ハ私
ハハツキリ此處ニ特筆大書シテ置キタ
イ
○國務大臣(和田博雄君) ドウモ多少
誤解ガアルノデスガ、私共ハ何モ共産黨
ノ手先ニナツテ居ル譯デモ何デモナイノ
デアリマシテ、政府ハ政府トシテ獨自
立場ニ於テ色々政策ヲ致シテ居ル譯
デアリマス、地主ノ保有米ニ付キマシ
テハ是ハ物納ノ時ニハ或程度ノ保有米
ト云フモノガ自然ニ認メラレテ居ツタ
デアリマス、二十一食糧年度ニ於テ
ハ、大體全國デ百萬石アタリカト思ヒ
マスガ、併シ此ノ物納ノ小作料ガ、先般
議會ヲ通リマシタ農地調整法改正ニ依
リマシテ、金納小作料ニナリマシタガ
故ニ、來年度カラハ必然的ニソレガナク
ナツテシマフコトニナル譯デアリマ
ス、ソレカラ今度ノ農地法デ小作人ガ
一町歩シカ買ヘナイト、斯ウ云フ御話
デアリマシタガ、ソレハ必ズシモサウ
デハナイノデアリマシテ、小作人ガ一
町歩シカ買ヘナイト云フ風ニ別段制限
ハ致シテ居ルノデアリマセヌ、一町
歩ト云フコトノ制限ハ、不耕作ノ地主
ガ、自分ノ手ニ保有シテ置ケル耕地ノ
面積ガ一町歩ト云フコトデアリマス、
今迄ノ農地法デハ、全國平均マア五町
歩ト云フモノガ、在村地主ガ持つテ居
タ譯デアリマスガ、今回ハ内地ニ於テ
ハ概ネ一町歩、北海道ニ於テハ平均四
町歩ト云フモノヲ、自分ノ手ニ、自分ガ
耕サズニ持つテ居レル、斯ウ云フノデ

アリマス、從ヒマシテ小作人ガ自作人
ニナラウトスル時ニハ、何モ一町歩シ
カ買ヘナイト、サウ云フ譯デハナイノ
デアリマシテ、唯今回ノ農地改革ハ、
出來ルデケ多クノ小作人ニ土地ヲ持タ
セヨウト、斯ウ云フ趣旨ガ入ツテ居リ
マスルノデ、一人デ自分ガ耕シモシナ
イノニ、三町ナリ五町ナリヲ買フト
カ、或ハ二町ニシテモ三町ニシテモ買
フト云フコトハ、是ハ自作農創定ノ趣
旨ニ反シマスノデ、サウ云フコトヲヤ
ラナイト云フコトダケナノデアリマシ
テ、ソコノ所ハ一ツ誤解ノナイヤウ御
了承ヲ御願ヒシタイト思ヒマス
○菅澤重雄君 内地ニ於テハ三町歩以
上ハ大體持テナイヤウニ承知シテ居ッ
タシタガ、北海道ハ十町歩カ……二
町歩カ三町歩ト云フヤウナコトヲ、新
聞デ見タシタシタガ、是ハ内地ニ於テモ
私ハ北海道ト同様土地ガアルト考ヘラ
レル、又北海道ヨリ以後ニ開墾ニナツ
タ場所ガ多イ、サウ云フ所ハ何千年來
モウ開墾ガ出來ナカツタ、ソレハ開墾
スル要素ガ足ラナカツタノデ、井戸ヲ
掘ルニモ百五十尺モ深ク掘ラナケレバ
ナラヌシ、ソレハ容易ナ金デハ出來ナ
イ、五千圓モ一萬圓モ掛ケナケレバ井
戸ガ掘レナイ、所謂飲料水ガナイ、ソ
レカラ防風林モナイ、人心ノ統一モ何
モ出來ナイ、一村ヲ成シ、一部落ヲ成
ス要素ガナイカラ、何千年ト開ケナイ
デアツタ内地ノ開墾地ガアル、サウ云
フ所ハ北海道ト同様ノ措置デナケレバ
ナラナイト思フ、從ツテ其ノ土地ハ三
町歩以上作ラナケレバ生活ガ出來ナ
イ、現ニ私ノ小作人デ六町歩作ルノモ
アリマスシ、七町五段作ツテ居ルノモ
隣村ニアリマス、サウ云フヤウナ土地
ハ、所謂三里塚ノ御料牧場ノ附近デス

ネ、硅藻土デ吹ケバ飛バヤウナ所ハ、
今年ノ春ナドハ、三升ニ五升ニ八升ト
云フ收穫デアルト云フノデ割當ヲヤツ
テ居リマス、デスカラ肥料ガ無ケレ
バ……肥料ノ力デ收穫ヲシタシタカ
ラ……絕對ニ麥ガ穫レナイ、從ツテ薄
山ノ土地ヲ作ラナケレバ生活ガ出來ナ
イ、硅藻土デアアルカラ土地ヲ耕スノニ
澤山ノ場所ガ要ル、壤土ト較ベレバ一
年デモ三倍以上ノ不耕作ガ出來ル、サ
ウ云フヤウナ土地デスカラ、北海道ト
同様ノ取扱ヲシテモ宜イノデアリカ
ト、斯ウモ考ヘルノデスガ、内地ハ何
處迄モ其ノ寸法デ行クノナラバ、是ハ
少シク農林省ガ見方ガ違ツテ居ヤシナ
イカト思フノデスガ……
○國務大臣(和田博雄君) 其ノ點ハ例
外ヲ認メテ居リマス、土地ニ依リマシ
テ、例ヘバ機畑デアルトカ、サウ云フ
ヤウナ劣等地ニ付キマシテハ、例外ヲ
認メテ居ル譯ナンデアリマス
○菅澤重雄君 例外ガアリマスカ
○國務大臣(和田博雄君) エ、例外
ヲ認メテ居リマス、ソレカラ經營ノ面
ニ付テハ、自分デ自作ヲシテ居ル、現
ニ自分デ自作ヲシテ居ル者ニ付テハ、
三町歩ト限ツテ居ナイノデアツテ、經
營面ニ於テハ、是ハ原則トシテハ、現
在マア自由ニ認メテ居ル譯デアリマ
ス、現在自家勢力デ五町ナラ五町耕シ
テ居ルト、斯ウ云フ者ハ其ノ儘五町ヲ
持つテ居ツテ宜イ譯デアリマス
○菅澤重雄君 他カラ小作人ハ入りマ
セヌカ
○國務大臣(和田博雄君) 小作ニ出サ
ズ、自分デ自作ヲシテ居ル、勢力ガ足ラ
ヌカラ日傭ヒデモ傭ツテ五町ナラ五町
本當ニ耕シテ居ツテ、立派ナ農業者
ダ、サウシテ相當ノ生産ヲ擧ゲテ居ル

ト云フコトヲ農地委員會デ認メマスレ
バ、其ノ經營シテ行ツテ宜イコト
ニナツテ居リマス、從ツテ經營ノ點ニ
付テハ、例ヘバ會社サンカ者自分ハ本
當ニ農業ヤル積リハナイノデアリマ
スケレドモ、食糧獲得ノ意味デ大キナ
土地ヲ持つテ居ルト云フコトハ、形式
的ニハ或程度自營ト言ヘマスケレド
モ、農業ト云フ點カラ言ヘマス、生
産能率ハ少シモ上ツテ居ナイ、寧ロサ
ウ云フモノハ專門ノ農家ニ一町ナラ一
町耕サシテ行ケバ宜イ、サウ云フモノ
ハ三町歩ヲ越エテ持つコトハ出來ナ
イ、斯ウシタ土地ヲ開墾シヨウト云フ
コトデ行ツテ居ルノデアリマスガ、實
際上現ニ自分デ耕シテ、自家勢力ガ手
不足デ、多少日傭ヒナラ日傭ヒヲ傭ツ
テ三町ナリ三町五段、四町ナリ耕シテ
居ルモノハ其ノ儘認メテ行ツテ、三町
歩ニ削ルト云フ考デアリマセヌ、今
度ノ要綱ハサウ云フコトニナツテ居リ
マス
○中村藤兵衛君 此ノ種ノ緊急勅令ト
云フモノハ謂ハバ應急處置デ、應急處
置デアルナラバ應急ヲ取外スノデヤナイ
カト思フノデアリマスケレドモ、ドウ
モ私考ヘテ見テ取外ス時機ガナイカノ
ヤウニ思ハレルノデス、ソレハ供出制
度ト云フモノガ無クナレバ此ノ制度ハ
要ラナクナルノデアリマセウケレド
モ、ドウモ考ヘテ見ルト、供出制度ト
云フモノハ永久ニ續クヤウナ氣ガスル
ノデスガ、ソレハ如何デアリマセウ
カ、即チ數日前發表サレタノ政府ノ
國土計畫、アレニ依リマス、農地ガ
五箇年間ニ七百五十萬町歩、詰リ現在
ヨリ百五十萬町歩増、人口ハ八千萬、
米ノ最低生産額六千萬石、最高八千萬
石、所要額ガ八千七百萬石、一人一石

八分ト計算シテアリマシタガ、サウス
ルト平年七千萬石生産スルトシテモ、
千七百萬石ハ不足デア、是ハ永久ニ
不足ナンデス、殊ニ是カラ進ンデ六
年、七年トナレバ、農地ノ増加率ハ前
ノ五箇年計畫ノヤウニハ行カナイ所謂
遞減スルト思ヒマス、其ノ外開墾開拓
モ其ノ割合ニ進マヌト思フシ、之ニ反
シテ人口ノ方ハアベコベニ殖エテ行
ク、人口ノ方モ國交ガ恢復シテ、外國
ヘ移民スルトカ植民スルトカ云フコト
ガアレバ、是ハ幾ラカ減ルコトガアリ
マセウ、マサカ産兒制限ト云フコトモ
ヤリマスマイカラ、人口ノ方ハ遞増シ
テ來ル、サウナルト其ノ不足ト云フモ
ノハ段々大キクナツテ來ル、言ヒ換ヘ
レバ此ノ供出制度ト云フモノハ永久ニ
ナクナルコトハナイト云フ風ナ感ジラ
懐クノデアリマス、サウナルト此ノ緊
急勅令モ應急手當デナクテ、ズツト永
久ノモノノヤウニ思ハレマスガ、其ノ
點ハ如何デセウカ、此ノ緊急勅令ト云
フモノハ外ス時機ガナクナツテシマフ
ノデヤナイカト思ヒマスガ、御考ハド
ウデセウカ

○國務大臣(和田博雄君) 是ハ供出制
度ガアリマス以上ハ必要ダト思フノデ
アリマスガ、日本ガ早く講和條約ヲ結
ビマシテ、日本ノ經濟ガ出來ルダケ早
イ機會ニ建直リマスレバ、又事情モ變
ツテ來ルト思ヒマスノデ、出來ルダケ
早クサウ云フ風ニ成ルダケ巧ク進ンデ
行クヤウニ是非シテ行キタイト思ツテ
居リマス、供出制度ガアリマス以上
ハ、是ハドウシテモ置イテオカナケレ
バナリマセヌ、將來ノコトニ付キマシ
テハ、色々事情ヤ條件ガ變ツテ參リマ
シテ、今カラ一概ニ永久ニ供出制度ヲ
續ケルト云フコトハ考ヘラレナイシ、

サウ云フコトデアツテハ日本國トシテ
ハ改變デアリマスノデ、サウ云フコト
ノナイヤウニ一ツ進メタイト思ヒマス
○委員長(伯爵黒田清君) ソレデハ今
日ハ是デ散會致シマス、明日ハ本會議
ガゴザイマスカラ、本會議ノ散會後ニ
御集リヲ御願ヒ致シマス

午後三時五分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵黒田 清君
副委員長 男爵佐竹 義履君
委員

侯爵大久保利謙君
侯爵前田 利建君
子爵今城 定政君
子爵秋田 重季君
子爵土屋 尹直君
林 春雄君
男爵稻田 昌植君
男爵西 西乙君
男爵前島勘一郎君
中村藤兵衛君
山崎 延吉君
松本 學君
奥村 嘉誠君
菅澤 重雄君
原田 讓二君

國務大臣 農林大臣 和田 博雄君
政府委員 農林次官 楠見 義男君
農林事務官 長谷川 清君

昭和二十一年十月十二日印刷

昭和二十一年十月十四日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局